茨城県

茨城県景気ウォッチャー調査

（平成25年9月調査分）

≪景気の現状判断DI≫

	平成25年6月	平成25年9月	前回調査比
茨城県	49.7	50.4	＋0.7
県北地域	42.1	47.7	＋5.6
県央地域	50.4	52.9	＋2.5
鹿行地域	52.2	46.9	△5.3
県南地域	50.5	53.9	＋3.4
県西地域	53.0	50.5	△2.5

≪景気の先行き判断DI≫

	平成25年6月	平成25年9月	前回調査比
茨城県	52.9	51.2	△1.7
県北地域	54.4	50.0	△4.4
県央地域	53.9	50.8	△3.1
鹿行地域	51.3	51.3	0.0
県南地域	53.2	50.5	△2.7
県西地域	51.7	53.2	＋1.5

平成25年10月

茨城県企画部統計課

目　　次

Ⅰ　調査の概要	1
Ⅱ　調査結果の概要	3
1　全県の動向	3
（1）景気の現状判断ＤＩ	3
（2）景気の先行き判断ＤＩ	4
2　地域別の動向	5
（1）景気の現状判断ＤＩ	5
（2）景気の先行き判断ＤＩ	8
3　回答率	1 0
Ⅲ　景気の判断コメント	1 1
1　景気の現状判断コメント	1 1
2　景気の先行き判断コメント	2 1
3　その他の意見	3 1

問い合わせ先
茨城県統計課庶務・企画分析グループ　TEL：029-301-2642
ホームページアドレス
http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/watch/index.html

Ⅰ　調査の概要

1 調査の目的

県内の事業所等において経済の第一線で働いている人々から，景気の現状や景気の先行き判断に関する生の情報を地域ごとに把握するとともに迅速に公表することで，県や市町村のきめ細かな施策立案や経済界におけるタイムリーな景気動向判断等の基礎資料とする。

2 調査の範囲

(1)対象地域

県下全域を対象とする。また，全域を県北，県央，鹿行，県南及び県西の５地域に区分する。なお，各地域に含まれる市及び郡は以下のとおりである。

※平成25年9月1日現在

地域	市　及　び　郡
県北地域	日立市、常陸太田市、高萩市、北茨城市、ひたちなか市、常陸大宮市、那珂市、那珂郡、久慈郡
県央地域	水戸市、笠間市、小美玉市、東茨城郡
鹿行地域	鹿嶋市、潮来市、神栖市、行方市、鉾田市
県南地域	土浦市、石岡市、龍ケ崎市、取手市、牛久市、つくば市、守谷市、稲敷市、かすみがうら市、つくばみらい市、稲敷郡、北相馬郡
県西地域	古河市、結城市、下妻市、常総市、筑西市、坂東市、桜川市、結城郡、猿島郡

(2)調査客体

家計動向，企業動向及び雇用動向を敏感に反映する業種に従事する者から，（１）で示した地域ごとに６０名，計３００名を調査客体とする。

【地域別・業種別調査客体数】

業 種 名	具　体　例	県北地域	県央地域	鹿行地域	県南地域	県西地域	合計
家計関連	小売業、飲食業、サービス業、住宅関連等	37	39	38	37	36	187
企業関連	製造業（食料品、一般機械器具等）、建設業、金融業	19	17	17	19	20	92
雇用関連	人材派遣業、公共職業安定所、求人広告業等	4	4	5	4	4	21

3 調査事項

（１）景気の現状に対する判断（方向性）
（２）（１）のコメント（理由）
（３）景気の先行きに対する判断（方向性）
（４）（３）のコメント（理由）
（５）その他景気に関する意見（自由回答）

4 調査月及び調査期間

調査月は３月，６月，９月及び１２月の年４回である。平成２５年９月調査の調査期間は，平成２５年９月１日から平成２５年９月３０日である。

５ 利用上の注意

（1）ＤＩ（Diffusion　Index）は景気の方向性（景気が上向きか下向きか）をみるものであり，景気の水準を判断するもではない。

（2）ウォッチャーの回答構成比は，小数第１位までの表示とし，表示単位未満の端数は四捨五入した。したがって，構成比の合計は１００％とならない場合がある。

※DI(Diffusion Index)について

１　景気の現状及び景気の先行きに対する判断の回答区分は，以下のとおり５段階としているが，それぞれに点数化し，これらを各回答区分の構成比（％）に乗じて，景気の方向性をみるための指標（ＤＩ）を算出している。

回答区分	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
点数	＋１	＋０．７５	＋０．５	＋０．２５	0

２　具体例

回答者数１００名で，回答内訳が以下の場合。

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
１５名	２７名	２５名	１１名	２２名

それぞれの回答構成比は

良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
１５．０％	２７．０％	２５．０％	１１．０％	２２．０％

したがって，ＤＩ値は，

（1点×１５．０％）＋（０．７５点×２７．０％）＋（０．５点×２５．０％）＋（０．２５点×１１．０％）＋（0点×２２．０％）＝５０．５となる。

この値は，全員が「変わらない」と回答した場合は，（０．５点×１００％）＝５０となることから，５０を上回っているときは，景気は上昇局面にあり，また５０を下回っているときは，景気の下降局面にあるといえる。

Ⅱ　調査結果の概要

1　全県の動向

(1)景気の現状判断DI

景気の現状判断ＤＩは50.4となった。平成25年6月の調査（以下，「前回調査」という。）より0.7ポイント上昇し，横ばいを表す50を24期ぶりに上回った。

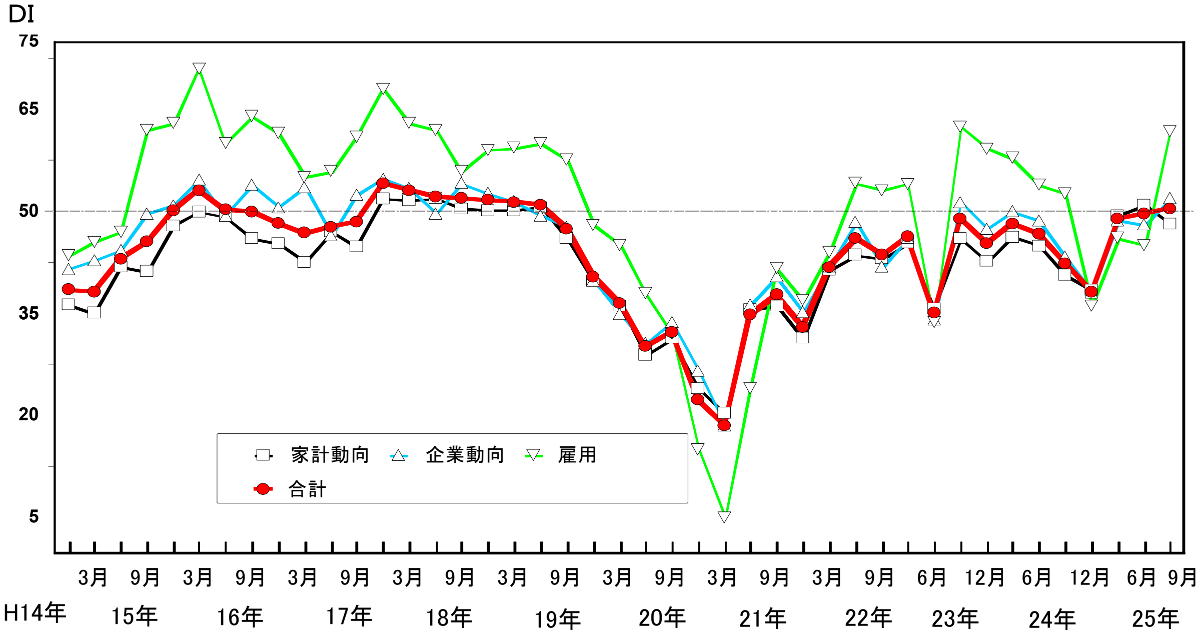
表1－1　景気の現状判断DI

分野＼調査年月			平成２４年９月	平成２４年１２月	平成２５年３月	平成２５年６月	平成２５年９月
合　計			42.3	38.2	48.9	49.7	50.4
	家計動向関連		40.7	38.4	49.4	51.0	48.2
		小売関連	43.5	37.3	48.5	51.4	46.7
		飲食関連	40.5	41.7	50.0	47.6	46.3
		サービス関連	38.0	37.5	48.5	50.0	49.3
		住宅関連	41.7	47.2	61.1	63.9	55.6
	企業動向関連		43.4	38.1	48.6	48.1	52.0
		農林水産業	34.4	50.0	37.5	50.0	54.2
		製造業	41.5	34.5	42.4	46.3	52.2
		非製造業	47.9	39.6	58.3	50.0	51.4
	雇用関連		52.6	36.1	46.1	45.0	61.8

表1－2　回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成２４年　９月	0.7%	16.9%	43.7%	28.5%	10.2%
平成２４年１２月	0.4%	10.8%	42.2%	34.3%	12.3%
平成２５年　３月	1.5%	24.3%	48.9%	19.0%	6.3%
平成２５年　６月	0.3%	26.6%	49.7%	18.2%	5.2%
平成２５年　９月	1.4%	21.3%	59.6%	12.6%	5.1%

図1－1　景気の現状判断DIの推移



(2)景気の先行き判断DI

3か月先の景気の先行き判断ＤＩは51.2となった。前回調査より1.7ポイント低下したものの，横ばいを表す50を3期連続で上回った。

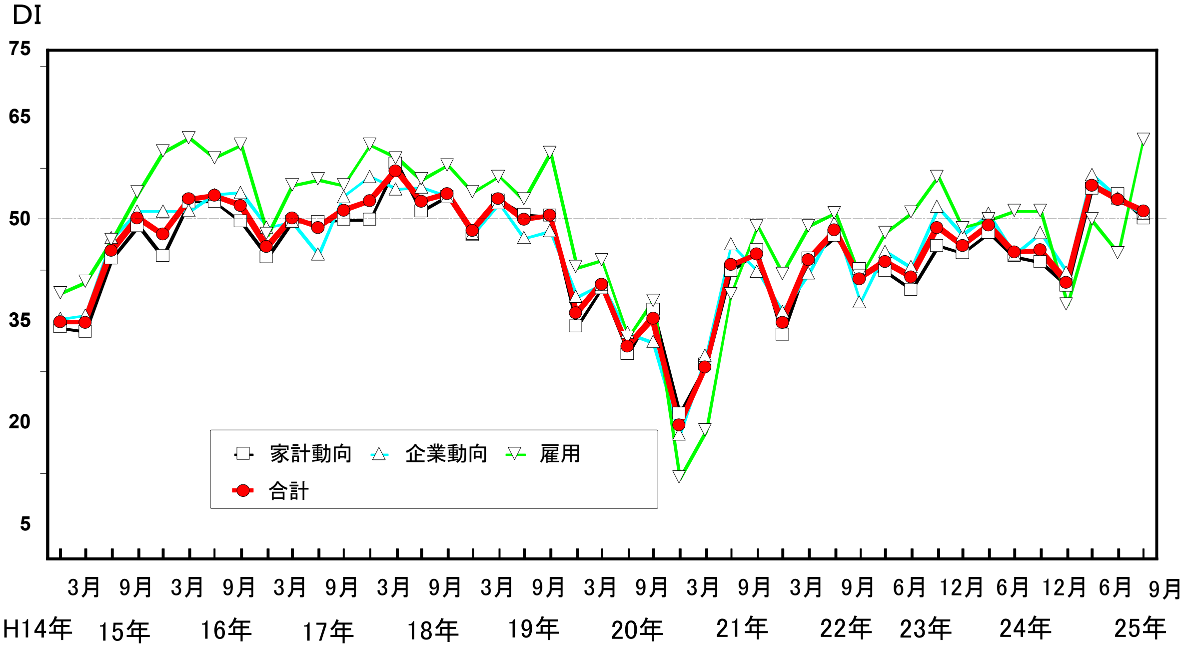
表1－3　景気の先行き判断DI

分野＼調査月		平成２４年９月	平成２４年１２月	平成２５年３月	平成２５年６月	平成２５年９月
合　計		45.5	40.7	54.9	52.9	51.2
家計動向関連		43.7	40.3	54.5	53.7	50.1
	小売関連	44.2	42.3	50.8	52.4	50.7
	飲食関連	48.8	35.7	54.8	52.4	46.3
	サービス関連	41.7	38.9	55.6	53.4	49.7
	住宅関連	44.4	47.2	72.2	69.4	58.3
企業動向関連		48.0	42.2	56.6	53.1	50.9
	農林水産業	46.9	50.0	40.6	53.6	45.8
	製造業	43.8	39.3	54.1	50.5	50.0
	非製造業	53.6	43.8	63.2	56.3	52.8
雇用関連		51.3	37.5	50.0	45.0	61.8

表1－4　回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成２４年　９月	1.4%	15.1%	55.3%	20.4%	7.7%
平成２４年１２月	0.4%	9.0%	54.2%	26.0%	10.5%
平成２５年　３月	3.0%	35.8%	41.8%	16.4%	3.0%
平成２５年　６月	1.4%	28.3%	53.1%	14.7%	2.4%
平成２５年　９月	1.8%	28.9%	46.6%	17.7%	5.1%

図1－2　景気の先行き判断DIの推移



２ 地域別の動向

（1）景気の現状判断DI

① 県北地域

景気の現状判断ＤＩは 47.7 となった。前回調査より 5.6 ポイント上昇したものの，横ばいを表す 50 を８期連続で下回った。

表2－1 景気の現状判断DI

分野＼調査月		平成２４年９月	平成２４年１２月	平成２５年３月	平成２５年６月	平成２５年９月
合 計		38.6	33.9	44.5	42.1	47.7
	家計動向関連	33.8	32.4	45.7	43.4	42.4
	企業動向関連	44.7	35.5	43.1	42.1	55.3
	雇 用 関 連	58.3	41.7	41.7	31.3	58.3

表2－2 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成２４年　９月	0.0%	13.6%	40.7%	32.2%	13.6%
平成２４年１２月	0.0%	12.5%	32.1%	33.9%	21.4%
平成２５年　３月	4.0%	18.0%	42.0%	24.0%	12.0%
平成２５年　６月	0.0%	15.8%	50.9%	19.3%	14.0%
平成２５年　９月	1.8%	18.2%	58.2%	12.7%	9.1%

② 県央地域

景気の現状判断ＤＩは 52.9 となった。前回調査より 2.5 ポイント上昇し，横ばいを表す 50 を３期連続で上回った。

表2－3 景気の現状判断DI

分野＼調査月		平成２４年９月	平成２４年１２月	平成２５年３月	平成２５年６月	平成２５年９月
合 計		47.2	38.9	50.5	50.4	52.9
	家計動向関連	48.6	40.4	52.2	51.4	51.9
	企業動向関連	43.3	35.3	47.1	48.5	51.5
	雇 用 関 連	50.0	41.7	50.0	50.0	68.8

表2－4 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成２４年　９月	1.9%	15.1%	54.7%	26.4%	1.9%
平成２４年１２月	0.0%	11.1%	42.6%	37.0%	9.3%
平成２５年　３月	0.0%	33.3%	42.6%	16.7%	7.4%
平成２５年　６月	0.0%	31.0%	41.4%	25.9%	1.7%
平成２５年　９月	1.7%	23.3%	61.7%	11.7%	1.7%

③ 鹿行地域

景気の現状判断ＤＩは 46.9 となった。前回調査より 5.3 ポイント低下し，横ばいを表す 50 を２期ぶりに下回った。

表2－5 景気の現状判断DI

分野＼調査月		平成２４年９月	平成２４年１２月	平成２５年３月	平成２５年６月	平成２５年９月
合　計		42.8	39.7	47.3	52.2	46.9
	家計動向関連	42.8	36.5	45.8	53.4	45.9
	企業動向関連	39.1	51.8	48.3	46.9	46.4
	雇 用 関 連	55.0	30.0	55.0	60.0	55.0

表2－6 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成２４年　９月	0.0%	22.0%	40.7%	23.7%	13.6%
平成２４年１２月	0.0%	12.5%	41.1%	39.3%	7.1%
平成２５年　３月	0.0%	17.9%	57.1%	21.4%	3.6%
平成２５年　６月	0.0%	31.0%	48.3%	19.0%	1.7%
平成２５年　９月	0.0%	10.7%	71.4%	12.5%	5.4%

④ 県南地域

景気の現状判断ＤＩは 53.9 となった。前回調査より 3.4 ポイント上昇し，横ばいを表す 50 を３期連続で上回った。

表2－7 景気の現状判断DI

分野＼調査月		平成２４年９月	平成２４年１２月	平成２５年３月	平成２５年６月	平成２５年９月
合　計		47.3	41.0	56.1	50.5	53.9
	家計動向関連	43.2	44.5	57.3	52.2	53.3
	企業動向関連	51.4	37.5	58.3	48.6	52.8
	雇 用 関 連	62.5	25.0	37.5	41.7	66.7

表2－8 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成２４年　９月	0.0%	25.5%	43.6%	25.5%	5.5%
平成２４年１２月	0.0%	7.5%	56.6%	28.3%	7.5%
平成２５年　３月	3.8%	32.1%	49.1%	15.1%	0.0%
平成２５年　６月	0.0%	23.6%	58.2%	14.5%	3.6%
平成２５年　９月	3.9%	27.5%	52.9%	11.8%	3.9%

⑤ 県西地域

景気の現状判断ＤＩは 50.5 となった。前回調査より 2.5 ポイント低下したものの，横ばいを表す 50 を２期連続で上回った。

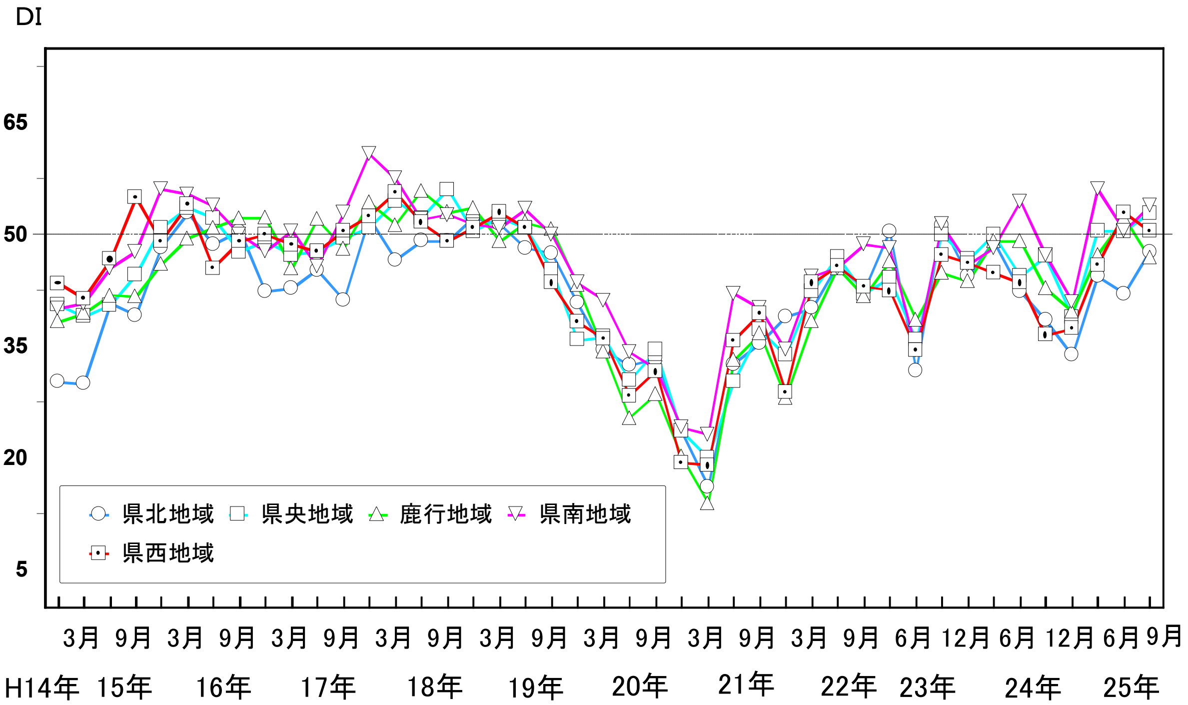
表2－9　景気の現状判断DI

分野＼調査月	平成２４年９月	平成２４年１２月	平成２５年３月	平成２５年６月	平成２５年９月
合　計	36.6	37.5	45.9	53.0	50.5
家計動向関連	35.7	38.9	46.1	54.4	47.7
企業動向関連	38.2	33.3	46.1	53.8	52.6
雇　用　関　連	37.5	43.8	43.8	37.5	62.5

表2－10　回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成２４年　９月	1.7%	8.6%	39.7%	34.5%	15.5%
平成２４年１２月	1.7%	10.3%	39.7%	32.8%	15.5%
平成２５年　３月	0.0%	20.0%	52.7%	18.2%	9.1%
平成２５年　６月	1.7%	31.0%	50.0%	12.1%	5.2%
平成２５年　９月	0.0%	27.3%	52.7%	14.5%	5.5%

図2－1　地域別現状判断DIの推移



（2）景気の先行き判断DI

① 県北地域

3か月先の景気の先行き判断ＤＩは50.0となった。前回調査より4.4ポイント低下し，横ばいを表す50を2期連続で上回った後，横ばいとなった。

表2－11 景気の先行き判断DI

分野＼調査月		平成２４年９月	平成２４年１２月	平成２５年３月	平成２５年６月	平成２５年９月
合　計		46.6	38.8	52.0	54.4	50.0
	家計動向関連	47.3	39.0	51.7	55.1	46.2
	企業動向関連	43.4	40.8	52.8	59.2	55.3
	雇 用 関 連	58.3	25.0	50.0	25.0	58.3

表2－12 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成２４年　９月	5.1%	11.9%	55.9%	18.6%	8.5%
平成２４年１２月	0.0%	7.1%	57.1%	19.6%	16.1%
平成２５年　３月	4.0%	34.0%	32.0%	26.0%	4.0%
平成２５年　６月	0.0%	36.8%	49.1%	8.8%	5.3%
平成２５年　９月	1.8%	27.3%	49.1%	12.7%	9.1%

② 県央地域

3か月先の景気の先行き判断ＤＩは50.8となった。前回調査より3.1ポイント低下したものの，横ばいを表す50を3期連続で上回った。

表2－13 景気の先行き判断DI

分野＼調査月		平成２４年９月	平成２４年１２月	平成２５年３月	平成２５年６月	平成２５年９月
合　計		47.2	41.2	58.8	53.9	50.8
	家計動向関連	45.7	40.4	58.1	54.7	51.9
	企業動向関連	51.7	45.6	63.2	51.5	47.1
	雇 用 関 連	41.7	25.0	41.7	56.3	56.3

表2－14 回答構成比

	良くなっている	やや良くなっている	変わらない	やや悪くなっている	悪くなっている
平成２４年　９月	1.9%	20.8%	47.2%	24.5%	5.7%
平成２４年１２月	0.0%	11.1%	48.1%	35.2%	5.6%
平成２５年　３月	5.6%	42.6%	33.3%	18.5%	0.0%
平成２５年　６月	3.4%	27.6%	51.7%	15.5%	1.7%
平成２５年　９月	1.7%	23.3%	56.7%	13.3%	5.0%

③ 鹿行地域

３か月先の景気の先行き判断ＤＩは 51.3 となった。前回調査からの増減はなく，横ばいを表す 50 を３期連続で上回った。

表2－15 景気の先行き判断DI

分野＼調査月	平成２４年９月	平成２４年１２月	平成２５年３月	平成２５年６月	平成２５年９月
合　計	47.5	39.7	52.2	51.3	51.3
家計動向関連	45.4	37.8	50.7	53.4	48.6
企業動向関連	50.0	42.9	53.3	46.9	55.4
雇 用 関 連	55.0	45.0	60.0	50.0	60.0

表2－16 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成２４年　９月	0.0%	13.6%	71.2%	6.8%	8.5%
平成２４年１２月	0.0%	5.4%	57.1%	28.6%	8.9%
平成２５年　３月	0.0%	30.4%	53.6%	10.7%	5.4%
平成２５年　６月	0.0%	24.1%	58.6%	15.5%	1.7%
平成２５年　９月	0.0%	32.1%	44.6%	19.6%	3.6%

④ 県南地域

３か月先の景気の先行き判断ＤＩは 50.5 となった。前回調査より 2.7 ポイント低下したものの，横ばいを表す 50 を３期連続で上回った。

表2－17 景気の先行き判断DI

分野＼調査月	平成２４年９月	平成２４年１２月	平成２５年３月	平成２５年６月	平成２５年９月
合　計	49.1	43.9	59.0	53.2	50.5
家計動向関連	44.7	44.5	60.5	52.2	51.7
企業動向関連	54.2	44.4	58.3	56.9	47.2
雇 用 関 連	62.5	33.3	50.0	41.7	58.3

表2－18 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成２４年　９月	0.0%	21.8%	56.4%	18.2%	3.6%
平成２４年１２月	0.0%	7.5%	67.9%	17.0%	7.5%
平成２５年　３月	3.8%	43.4%	39.6%	11.3%	1.9%
平成２５年　６月	1.8%	25.5%	56.4%	16.4%	0.0%
平成２５年　９月	2.0%	33.3%	33.3%	27.5%	3.9%

⑤ 県西地域

３か月先の景気の先行き判断ＤＩは 53.2 となった。前回調査より 1.5 ポイント上昇し，横ばいを表す 50 を３期連続で上回った。

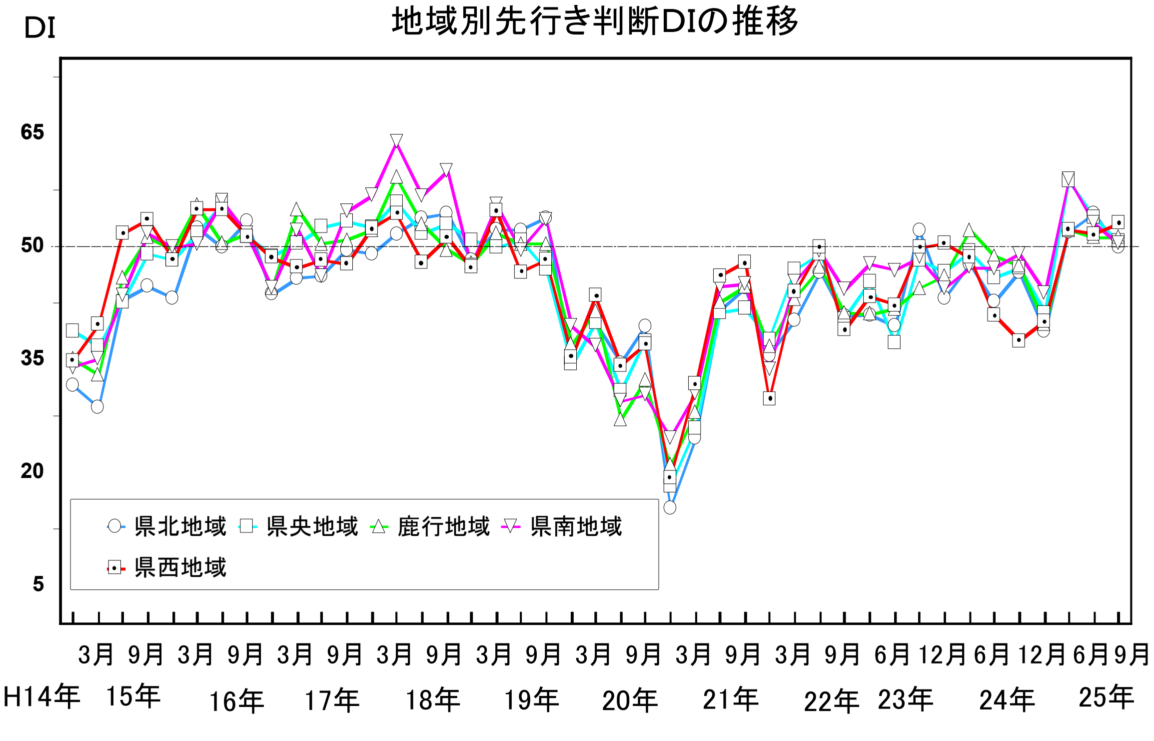
表2－19 景気の先行き判断DI

分野 ＼ 調査月	平成２４年 ９月	平成２４年 １２月	平成２５年 ３月	平成２５年 ６月	平成２５年 ９月
合　計	37.5	40.1	52.3	51.7	53.2
家計動向関連	35.0	40.3	51.6	52.9	52.3
企業動向関連	42.1	37.5	55.3	50.0	50.0
雇 用 関 連	37.5	50.0	43.8	50.0	75.0

表2－20 回答構成比

	良く なっている	やや良く なっている	変わらない	やや悪く なっている	悪く なっている
平成２４年　９月	0.0%	8.6%	44.8%	34.5%	12.1%
平成２４年１２月	1.7%	13.8%	41.4%	29.3%	13.8%
平成２５年　３月	1.8%	29.1%	49.1%	16.4%	3.6%
平成２５年　６月	1.7%	27.6%	50.0%	17.2%	3.4%
平成２５年　９月	3.6%	29.1%	47.3%	16.4%	3.6%

図2－2 地域別先行き判断DIの推移



3　回答率

地域	調査客体	回答数	回答率
全　県	300　人	277　人	92.3%
県北地域	60　人	55　人	91.7%
県央地域	60　人	60　人	100.0%
鹿行地域	60　人	56　人	93.3%
県南地域	60　人	51　人	85.0%
県西地域	60　人	55　人	91.7%

Ⅲ　景気の判断コメント　―　１　景気の現状判断コメント

（１）県北地域　【現状】　（－：回答が存在しない。　○：主だった回答等が存在しない。）

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業（電気機械器具）	3か月前までは平均的受注量に対し約2割ほど少なかったが，現在は平均的レベルまで回復してきている。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	見積依頼が増えたり，契約物件が増えて来ている。
		スーパー	新築住宅や新車購入の話など聞こえてくる。外食・衣料品店も客入りは増加していると思う。食品についても高値商品（うなぎ・さんま）などは別として季節のブドウ・桃・梨など良く動いている。ギフトなども単価の安い物から少し高くても良い物へシフトしていると思う。
		小売業（弁当・惣菜店）	秋になり行事等が増えている（ただこれは毎年のこと）。
		スナック	連休や週末に観光やレジャー，ショッピングモール等に出かける人が多い。
	企業	林業関係者	材不足の為か価格が多少上がりぎみになり間伐（材）等の受託が増してきている。
		製造業（一般機械器具）	製品の出荷額・量が多くなっている。
		製造業（電気機械器具）	受注高は横這いであるが，作業量が増えて来ているので収入も増えている。
		製造業（電気機械器具）	少しずつ受注が増え，景気が良くなったとはまだ言えないが，3か月前よりも安定してきている。
	雇用	学校関係者	公共職業安定所において求職活動している者が，職業訓練を受講する人数が減っている。
変わらない	家計	スーパー	目立った動きはない。
		スーパー	お客さんの人数がほとんど変わらない。去年の今頃と比べても変わらない。
		コンビニエンスストア	景気よりも天候に売上は左右されている様に感じる状況です。
		小売業（工具）	アベノミクスの効果はあると思うが，まだ設備投資にまでは波及していないと思われる。現在の状況は為替円高の改善で輸出関連業が好転して，利益が確保されているだけで，設備投資まで行かないか，時間がかかる状況と思われる。しかし，昨年より株価が好転しているので，年末には良くなると思われる。
		自動車販売店	消費者の動き（来店者数，販売台数，購入車両の価格帯）は，3か月前とほぼ同じである。
		小売業（燃料）	購買行動に特に変化はないと思う。
		小売業（酒類）	下げ止まったかに感じたが，6月頃から今までにないくらい酒類販売が悪かった。
		小売業（水産物）	景気が良い話を聞かない。
		小売業（時計）	当地方は全国の例にもれず，商店街としての体はなしていませんが，お得意さんが多い（新規のお客さんはあまり期待出来ない）ので，現在の景気は変わらないとやや良くなっているの間ぐらいでしょう（安い商品等の場合1点のみではなく複数点買上げが時々有る）。
		レストラン	全体の話からそれ程変わっていない様に思いました。
		観光型ホテル	普段と変わりがない。
		観光型ホテル	日帰り宴会，宿泊予約共に前年同期とほぼ同じ状況である。
		旅行代理店	受注状況・営業状況から見ると変わっていない。
		タクシー運転手	タクシーの売上げ状況も現状維持が精一杯です。お客様の様子もほとんど変わっていないというのが正直なところです。
		タクシー運転手	大手企業の新築ラッシュも大方完了しかけているが，期待していた程関係筋のタクシー利用が伸びず，景気は変化なしとした。
		ドライブイン	夏場の猛暑であまり動きがなかった事もあるが…山採りきのこの季節を迎えても，風評被害等があり，あまりお客様に動きがない。
		レジャー施設	お客様の消費が伸び悩んでおり，客単価も変わらない。
		ゴルフ場	予約の進捗が遅く，直近まで動いている状況。天候の影響も大きいが景気は変わっていないと判断します。
		住宅販売会社	期待されていた駆け込み需要もなく，お客様動向に特段変化はみられない。
	企業	水産業関係者	前回と状況が変わらない。
		製造業（製缶）	受注状況が低迷のまま。
		製造業（電気機械器具）	現状8月売上げについて，今月の前年比と3か月前（5月）の前年比を比べると，同じように横ばい（やや減少）なので景気は変わらないと思う。
		製造業（電気機械器具）	原子力関連の部署は業務量が少なく，一般産業向け，特にスマートフォン関連，自動車関連，鉄道関連がやや多めである。
		製造業（電気機械器具）	受注量，計画量に大きな変化は見られない。

変わらない	企業	製造業（輸送用機械器具）	国内は円安の影響によりガソリン等の燃料が高騰しつづけており，各カーメーカは軽自動車に加え新型ハイブリッット車を次々に市場投入し購買環境を変化させているが，景気の大きなインパクトにはいたっていない。又，海外の環境も大きな変化なし。
		建設業	さほど状況に変化はなく，忙しい状態が続いている。
		情報通信業（情報ｻｰﾋﾞｽ業）	商談は増えているが受注量に変化が無い。
		金融業	3か月前に比べ大きな変化はみられない。依然として設備投資に対する取組みは鈍く，既存の貸出金に対する条件変更の相談も多い。
		不動産業	以前と変わらず，引続き所得の伸び悩みや低下（その不安含）があり，住宅等の大きな買い物について，買い時感が掴めていないのではないか。
		サービス業（広告業）	特別な受注がなかった。
	雇用	公共職業安定所	新規求人は，震災以降の23年4月以降前年同月比が増加傾向に転じ，24年9月まで前年同月比18か月連続での増加となっていたが，24年10月に減少に転じた。また，有効求人倍率は，22年6月以降24年10月まで29か月連続での増加を続けていたが，11月0.84（24年0.91）と減少に転じ，その後雇用情勢面では厳しい状況にある。当所の5月から7月の新規求人数をみると，対前年同月比で5月－12.7%，6月19.2%，7月－4.3%となっており，依然，厳しい状況である。対して新規求職者は，対前年同月比で5月6.4%増，6月2.6%増，7月10.9%増となっており，求職者は増加しているが，求人は減少傾向。
		求人開拓員	求人を出す製造業も出てきたが，景気の良い話は聞かれない。前年度と比較しても増加していないとの事。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	高齢者の各負担が増えている。消費マインドの低下が見られる。客単価の減少，将来に対する経済的不安要因がある。
		衣料品販売店	新しい商品を求めるより，いままで持っているものを使う人が多い。
		ボウリング場	来場客が減っている。
		ゴルフ場	来場実績ベースで4～6月は対前年同期比で106%と順調に推移。現時点の9～12月は対前年103%の予見，－3ポイント流れが低くなっている。参議院選挙の影響は，計画来場者比で93%となり7月は多少影響を受けたものと判断する。
		クリーニング店	客数が減少している。
	企業	製造業（電気機械器具）	仕事（作業）量の減少，賞与のカットがあった。
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	市内での朝・夜の時間帯の客数減が大きくなっている。予約商品などに対する反応なども厳しい状況。
		居酒屋	来店客が少ない。
		タクシー運転手	会社の売上げが減っているので運転手に売上げを上げる様に言われている。
		ゴルフ場	営業先の小売店の経営者と話をしてもアベノミクスの効果がみじんも感じられないどころか，売上減少が止まらないと聞く。
	企業	運輸業	貨物量が減少している。

（２）県央地域　【現状】　　　　　　　　　　　（－：回答が存在しない。　○：主だった回答等が存在しない。）

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業(金属製品)	仕事量も増え，単価も確実に上昇してきています。客先も業者を確保するために焦っている様子が伺えます。
やや良くなっている	家計	百貨店，総合スーパー	一部の方に高くても良いものをお買い求め頂ける傾向が見られている。
		スーパー	売上げは8月度前年比103％と伸長している。3か月前と比較しても1.5％伸長しており，景気は良くなっていると判断しました。
		割烹料理店	3か月前に比べ夏の暑さが厳しくなってきたので，冷たい飲み物，生ビールなどが出るようになった。
		観光型ホテル	海水浴場や観光施設への人出が増加しているように思う。
		旅行会社	今年は9月後期が昨年より予約が入り，少し良くなってきた感はある気がします。
		観光名所	昨年同時期よりも観光客が増加している。
		ゴルフ場	来場者的には増加傾向を示しているが，お客様の使う金額は減少傾向を示している。
		レジャー施設	過去の実績と比較して，入場者が増えている。また，遠方の来場者が増えてきている。
		建築設計事務所	仕事量が増え，人手不足の声が多く聞こえる。
	企業	サービス業（コンサルタント業）	仕事先の小売店や飲食店の前年同月比を比較すると，3か月前と同じかやや良くなった店舗が多い。理由としては，政権交代により，新しい政策や心理面の効果で数字が改善したことに加え，猛暑による影響で暑さ対策商品の購入や，飲料や外食の支出が増えたことがあげられる。
		サービス業（広告業）	9月末決算のお客様からの問い合せ・受注が増えた。
	雇用	公共職業安定所	有効求人倍率は6月と比べ上昇しているが，これは例年見られる傾向となっている。新規求人については月3,000人台，前年同月を10ポイント程度上回っている。有効求人倍率は0.8倍台となり，対前年同月比では微増となっているものの，全国の有効求人倍率0.9倍を依然下回る状況となっている。
		学校関係者	学生に対する求人企業が増えてきたので，企業の景気はやや良くなっていると判断する。
		求人開拓員	当センターの求人件数，求人数は共に3か月前比110％弱の伸びです。来館者は多いのですが，新規登録者の伸びは3か月前比80％と減少傾向にある。雇用関係は，少しずつではあるが改善しつつあるように感じられます。
変わらない	家計	商店街代表者	客数，売り上げなどはほとんど変化ありません。
		商店街代表者	近年，7月8月は暑いので，お客様が商店街を歩いたり買い回りをしなくなっている。来店客数も売り上げも低迷状態で推移している。
		百貨店，総合スーパー	売上について3か月前の前年比の伸び率とほぼ同様の為，変わらないと判断した。
		スーパー	前年比並です。
		スーパー	売上，客数，買上率を見ても大きな変化なし。
		コンビニエンスストア	買上点数は大きく変化せず，単価も変化していない。
		家電販売店	売上げが変わらず景気は悪い。
		農産物直売所	ギフト商品の単価は横ばい傾向。飲食される客数も横ばいである。
		スーパー	売上があがらない。
		レストラン	当店においては世間一般でいわれるような高額商品が多く出ることもなく，とくに変化はない。
		レストラン	会社関係の接待会合等の会食，ファミリーの会食等，大きな動きの変化はない。
		都市型ホテル	前年並の売上である。
		都市型ホテル	予約，利用数は大きな増減もないし，利用単価も伸びていない。
		タクシー運転手	相変わらず低水準で推移しています。基本的には年金暮らしの人が多くて（病院に行く年配の人が多い）景気が良いとか悪いとかの騒ぎではないのです。給料から判断して変わらないし今月も同じ位だと思います。
		タクシー運転手	毎年敬老の日と秋分の日はありますが，両方とも3連休となっています。今月の前年比と3か月前の前年比を比べると大体同じになっていますので，景気は変わっていないと判断します。
		タクシー会社	売上げ等がほぼ横ばい状態である。
		タクシー会社	3か月前と比較して，現状の景気変動はないものと感じている。お客様の動向を見ても大きな変化はなく，企業，個人ともに必要最小限の利用にとどまっているように感じられる。タクシー1台当りの営業回数，運送収入も変化はなく，企業は経費削減を重視し，個人消費者は無駄な失費を避けて景気動向を注視しているように考えられる。
		ドライブイン	観光のお客様が少ない時なので，景気の変化がみられませんでした。

変わらない	家計	ボウリング場	来店されるお客は，以前とあまり変わりは無いとの事です。一部のお客様は仕事が増えたとの話は有りましたが，本人の収入は変わらないそうです。
		カラオケ店	売上推移状況より，変わらないと判断した。
		レジャー施設	新規申込や問い合わせがそれほど多くない。
		理・美容店	特別何か行動を起こした訳ではないが，今年に入って売上げは安定している。
		理・美容店	売上げや個人の客単価がアップしてない。
		住宅販売会社	駆け込み購入が一段落し，現在は一旦落ち着きはじめている状況。
	企業	農業関係者	原油価格の高騰で生産費の負担が増えているが，当地域は災害等の被害も少なく，農作物も順調に生育している状況である。
		製造業(食料品)	福島原発の影響なのか？　猛暑の影響なのか？　活気がみられない。
		製造業(食料品)	季節変動はあるが基本的には停滞状態で，消費は伸びない。
		製造業（印刷・同関連業）	売上が伸びていない。
		製造業（印刷・同関連業）	受注量が減少している。
		製造業(一般機械器具)	変わらないと言うよりはやや悪くなっているに近い。
		製造業(精密機械器具)	アベノミクス効果を期待しましたが，ここに来て引合いも，踊り場に差し掛かった様相です。
		建設業	変化，動きが見られない。
		運輸業（道路貨物運送業）	原材料の動きは良くないが，住宅関連製品は動いている。
		情報通信業（情報ｻｰﾋﾞｽ業）	顧客のICT関連投資については大きな変化は見られず，今後の商談活性化に期待。一部の顧客からは，前向きな話を聞く機会が増えて来てはいるが，景気回復の実感はまだない。景気は，3か月前から変わっていないと感じる。
		金融業	アベノミクスに対する期待の声は大きいものの，未だ飲食業・小売業・製造業など売上増加までには至っていない。
		不動産業	秋口の移動期を見ても金銭的な余裕はなく，かなりシビアに物件を見ている。また，なかなか1回の案内では気に入ってもらえないので対応を変えている。前年に比べてもお客様の問い合わせが少ないように思う。
	雇用	人材派遣業	まだまだ売り上げ増にはつながってきていない。
やや悪くなっている	家計	スーパー	ガソリンや電気料の値上げ，輸入に頼っている食品やワイン等の値上げも続くので，財布の紐が締まっているようだ。
		コンビニエンスストア	既存店の売上不振，客単価の減少がみられる。コンビニエンスストアとしては景気回復を実感出来ていません。
		自動車販売店	前年のエコカー補助金の廃止により市場の落ち込みは，前年比2割ほどあり全体に販売台数は減になっています。お客様もスモールカーを選ぶ人が多くなり1台あたりの売上も減っています。
		専門スーパー	アベノミクス効果で都市部では，景気回復の兆しが見えてきているといわれているが，3か月前に比べて売上の減少が続き厳しい状態。
		レストラン	前年に比べてブライダル関係の売り上げが落ちています。その結果，全体的にマイナス傾向になってきました。
		旅行代理店	9月以降の先行受注の低迷がみられる。
	企業	サービス業（広告業）	広告宣伝費が削減傾向にある。昨年もそうだったが，秋になるとその傾向が強くなっている。
悪	企業	製造業（窯業・土石製品）	受注量が減少している。

（３）鹿行地域　【現状】　　（－：回答が存在しない。　○：主だった回答等が存在しない。）

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	観光型ホテル	宿泊利用人員も増え，客単価も少し上がっている。
		理・美容店	今年の夏はすごく暑かったので，その影響だと思う。
		理・美容店	来店サイクルの向上と単価アップが感じられる。
	企業	建設業	消費税が上がる前なので駆け込みがあります。新築着工棟数が多い，鹿行地域震災の建て替えもあります。
		サービス業	顧客からの問い合わせの増加，2ないし3年程度途絶えていた顧客からの引き合いなど全体的に依頼件数の増加が認められる。夏休みの高速道路の交通量の増加，まとまった休みの取得など企業環境の改善が認められる。
	雇用	学校関係者	企業からの求人が昨年度よりも多くなっている。
変わらない	家計	小売業（食品）	8月はお盆の月でお客様の動きが多少あったようでした。
		商店街代表者	商店街に生鮮三品を取扱う店舗が少なくなり活気に貧しい。飲食店は平年並み。衣料関係に厳しさがある。
		スーパー	客数や客単価に変化が見られない。
		スーパー	お客様が1回のお買い物で買い上げされる点数は以前と同じく上がっていない。日替り，目玉商品の点数が伸び，その他通常販売商品が伸びない。
		コンビニエンスストア	買い上げ点数は上がっているが客単価が下がっている。タバコの影響が大きい部分だが，コンビニエンスストアでのお客様の買い物のされ方に変化は感じません。
		コンビニエンスストア	景気回復の基調ありと騒がれているほど足元の消費は決して良くはない。コンビニの利用も良い意味で購入目的があっての来店客が増えているという実感はありますが，客単価を落としているデメリットもある。
		家電販売店	電気料金の値上げ報道もあり省エネ家電は好調に推移している。又，消耗品等は好調に推移している。但し，大きな伸びではない。
		自動車販売店	周りの雰囲気，又は仲間の話からみて変わらないと判断した。
		農産物直売所	売上げについてほぼ変わらない。
		小売業（菓子販売店）	前年同期と売り上げが同じ位である。
		小売業（薬品店）	通常，夏休み期間は客数・売り上げが上がるのに，今年はいつもの月と変わりがなかった。ニュースでは，今年のボーナスは去年より上がっていると言っていたがお客様を見ているとそんな実感はなかった。
		小売業（書店）	3か月前と比較しても客数，客単価が変わらない。
		衣料品販売店	昨対客数で変化がない。
		レストラン	夏の間はイベント，夏休みと外出しているわりには，お金を使わず上手に生活している感じから，変わらないと判断した。
		洋食食堂	例年の通りに繁忙期ではあるが，数字を比べるとさほどでもなかった。7月は前年アップだが8月は前年よりダウンと3か月の範囲ではあまり変わらない。
		タクシー運転手	乗客の区分で企業関係のビジネス客はあまり変化なく，一般の地元周辺の乗客が依然少なく業務の支障が多い。
		タクシー運転手	定期修理も終わり，例年通り動きは鈍い。
		タクシー運転手	前回同様，夜間の乗車率が回復してこないので，横ばい状態と思われます。
		ドライブイン	猛暑の影響もあり，大きな売り上げの状況はない。
		和食食堂	周りの変化がない。
		レジャー施設	鹿行地域，特に地元周辺に係る景気については，鹿島臨海工業地帯進出企業の動向が重要な要素であるところ，最近の円安による原材料高騰のため必ずしも景気が回復しているとの実感はないもの。
		室内装飾業	仕事が今後増える兆しが見えないし，仕事仲間を歩いても遊んでいるようだ。
		住宅販売会社	消費増税前の活発な動きが予想されたが，特に顕著な動きもなく，落ち着いた状況が続いている。
		住宅販売会社	特に来場数などに変化なし。消費税増税がまだ正式に決定されていない事で，これといって多くの駆け込み需要もない。 増税後の国の支援策として，現金支給やローン控除の拡大などを考えると，年収によっては増税後に住宅購入した方が得をする方も多いこともあり，いまひとつ住宅で考えると景気が良くなった実感はあまりない。

変わらない	企業	製造業（食料品）	地域の格差，企業間での格差がありすぎる。この地域には好況感はない。
		製造業（食料品）	7月は，今年最低の販売実績を残してしまい悩みを感じていたが，8月は暑さ厳しい中，いろいろと多くのイベントがあり，昨年度同月に比べ12%以上のアップに驚きを感じました。しかし厳しい状況には変わりなく，お客様もお金が必要な時には使うが，そうでない時は無駄な消費はしない様に感じます。
		製造業（輸送用機械器具）	先年対比や今年3月を考察すると決して中小メーカーに景況感はない（特に海外輸出「中国向け」は依然良くない）です。国内向けについては，建材部品などはやや上向きとなりつつある。
		製造業（化学工業）	国内需要は徐々に戻りつつあり，稼働も多少アップしたが，それ以上に原燃料の高止まりによるコストアップが大きく収益を圧迫している。
		建設業	公共事業発注も増えている感じはしますが，業界的には慢性的な人手不足が解消されていないので，景気上昇にはつながらないように感じます。
		製造業（鉄鋼業）	特段変化の様子は感じられないが，円高の修正により回復の動きが感じられる。
		金融業	最近の株価や外国為替，政府の発表する指数を見る限りでは景気が上向いている様子が窺えるが，中小零細企業や個人等の経済の末端まではその恩恵があるということはほとんど聞かれず，3か月前と比較して景気は変わらない。
		保険業	燃料代の支払いが多くなり，良くならない。
		不動産業	お客様の来店数が少なくなっているような気がします。居酒屋さんも波が多いようだ。
	雇用	人材派遣業	各社の動向は変わらないと記入しましたが，少しは良い方向の変わらないと理解して頂きたい。鉄鋼，化学各社共に従来よりも増産基調にあります。要は川下産業・企業が，需要に見合う生産に連動するかに有ります。確かに猛暑に煽られる生産増は確実に見られる。
		民間職業紹介業	業種によっては求人案件が若干増えてきたが，全体的には増加傾向にない。
		公共職業安定所	引き続き，円安傾向の中，輸入原材料や燃料などの高騰の影響で，輸出による利益と相殺されるように思える。
		就職支援センター	求人状況は建設業や介護関係部門に底堅い需要があるものの，全体的には依然として顕著な動きは認められない。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	夏の暑さで購買意欲がなくなり景気が良くない。日中は暑いので夕方頃からお客様がみえる。日中の購買力が落ちるので売上が落ちる。
		小売業（酒類）	他店，取扱店舗が増加したため，酒類の売上が減少した。
		小売業（金物店）	地元大手企業が合併して合理化によりラインの縮小と仕事量が減り，また下請け企業が地元に来て仕事を受注しているので地元の下請け企業の仕事量が激減しているみたいです。それと経済状況が変わらずやや悪くなりつつあると思います。
		割烹料理店	例年から比べても，売上げが下がっている。企業の下請けの会社の方は，例年には有る仕事が今年は無くなっている，もしくは減らされていると聞いた。
		日本料理店	接待が少ないような気がします。土木関係は震災の仕事が終わり，仕事が少なくなったということで東北で仕事をしているそうです。
		タクシー運転手	個人的には6月頃と比較して1日ごとに5,000円程度ダウンしている。近辺の企業にはまだまだアベノミクスは浸透していない様に感じる。
		クリーニング店	米の収穫の時期ですが値段が昨年より安く1俵で3,000～4,000円も安いです。たくさん作る程赤字が増える。若い人は作らなくなると思います（耕地整理のパイプラインの水道代は作らなくてもかかるが）。
悪くなっている	家計	観光型ホテル	利用者数の減少による。特に9月の予約者数は震災のあった年よりも少ない。都内から観光バスでお越しになる団体客が特に少なくなっている。
		製造業（食料品）	テレビ放送等の影響もあり，鯖缶詰販売好調にて引合は順調なるも，地球温暖化によると思われる海水温上昇と黒潮蛇行現象により漁獲低迷に直面しており，原料にインフレ・販価デフレ状態が持続していることから関連業界景況は良くない。
	企業	運輸業（道路貨物運送業）	8月お盆休み以降，貨物の動きが悪くなっている。それに関係してトラックの動きも落ちて来ている。生産は8月初めまでで一段落着いている状況である。

（4）県南地域　【現状】　　　　　　　　　　　　　　　（－：回答が存在しない。　○：主だった回答等が存在しない。）

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業(非鉄金属)	主力大手自動車メーカーからの3か月インフォーメーション上での受注量は，対前年比20％強伸びており，フル操業の状態にある。一方では，電気・ガス等の燃料代の値上げ，他コスト上昇要因も見られ，収益面を圧迫してきているが，全体的には良くなってきている。
		建設業	3か月前は工事が少なく，片付けや草刈りをしている日々が多かった。昨年はそうではなく，応援職人を頼んでいる状況だった。そして今は，工事が間に合わない状況である。3か月先までの工事も確保しており，着実に景気は良くなっていると判断する。
やや良くなっている	家計	スーパー	買上点数及び客単価が前年同月比で前年を上回っている。
		スーパー	3か月前と比較し，当店の実績が伸張している（客数で＋3%，売上げで＋4%）。
		コンビニエンスストア	お客様の客単価，買上点数に徐々に変化が出始めており，価値を感じて頂く事で購入動機が生じていると感じる。
		和食食堂	暑い日が続き，食品であれば冷たいものの売上が伸びた。
		タクシー会社	現金のお客様が増えている。
		タクシー運転手	若干回復の兆しが見えるように思う。
		ゴルフ場	コンペ等の組数が以前は予約時より減少することが多かったが，最近はあまり変更がない。
		パチンコ店	猛暑が連日続いた分，普段見なれない客が多かった。
		建築設計事務所	設計の引き合いがあり，2件ほど契約した。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	当社の業況からみると地域によりバラツキがあるが，全般的には良くなっていると感じられる。東北地区は人手不足による建設工事入札の不調が言われているが，当社製品は現場で生コンを使わないで工事を行う為のプレキャスト製品なので相当需要が出てきている。しかし，関東地区の売り上げが前年並みで低調である。
		製造業（窯業・土石製品）	復興需要や民間の消費税引き上げ前の宅地造成等，受注も増えている。
		建設業（設備工事業）	売上げが3か月前より2割増であった。
	雇用	人材派遣業	営業活動における受注数の増加がみられる。
		求人開拓員	非正規ではあるが物流の関係の求人が増え始めた。物流関係が忙しくなって来ているということはモノが動くようになって来ているのか？　物流関係の求人を出していた担当者は景気回復の兆しとのこと。
変わらない	家計	スーパー	売上について今月の前年比と3か月前の前年比とも落ち込んでおり，その状況は変わらない。特に客数が減少している。
		コンビニエンスストア	天候や気温の変化で売り上げの変化は確認できるが，その他の要因で売り上げが変わった数値はみられません。
		農産物直売所	固定客がほとんどで，土，日に他県ナンバーの車が来るくらいだ。
		専門スーパー	3か月前と同様に厳しい状況です。
		ガソリンスタンド	属する業界によって様々な気がしますが，全体としては変わらないと思います。
		洋食食堂	予約数が去年と比べて同じ，変化がない。
		寿司店	お客様と話をしたら，景気はあまり良くないとのこと。どうしてと聞いた所，給料はほとんど上がらないし，仕事が暇との事。私も変わらないと思う。
		都市型ホテル	宿泊やレストラン利用の個人消費では，あまり動きが感じられない。企業の動きの接待需要もさ程伸びていない状況であり，景気については概況よりあまり変わらない。宴会も大きく単価を上げることもなく受注件数もあまり変動がなかった。
		都市型ホテル	宿泊・宴会・レストラン全ての部署において予約の伸びがなかった。
		タクシー運転手	製薬会社様から，チケットの値段の制約があり長距離のお客様が少なくなると思う。
		旅行代理店	秋の旅行シーズンに向けて問い合わせや申込は増えてはいるものの，特に景気が良くなっているとは思えない。
		タクシー運転手	お客様も売り上げも変わらない。
		タクシー運転手	企業関係の経費削減が感じられる。日中のサラリーマン風の乗車が少ない。長距離が少ない。一か月の売上げ（水上げ）も横ばい状況である。
		タクシー運転手	昼は会社関係がタクシーを使わないし，夜は飲み屋さんからの電話がない。
		ゴルフ場	3か月前と比較して来場者は若干減少している。但しこの記録的猛暑を考えると景気的には変わっていないと思われる。
		住宅販売会社	土地の動きは相変わらず堅調。

変わらない	企業	製造業（食料品）	来店数も，客単価も変わらない。
		製造業（飲料）	特段いい話は聞こえない。
		製造業（印刷業）	ご来店数は変わらない。
		製造業（一般機械器具）	特徴的な動きがない。
		建設業	お客様からの工事問い合わせ件数，受注率を考えると特に悪い流れでもなく，良くもない。
		運輸業（倉庫業）	今までの動き（実績），現在の状況を分析すると入出荷状況は元に戻りつつあるが，一方で売上げが厳しく製品が動かない面も出てきた。天候等の影響で生産，販売等が左右される部分がある。
		金融業	取引企業の動向を見ると，一部の企業について災害復興関係の売上増加はあるものの，一般企業の売上は依然として，横ばいか減少が続いており，業況は厳しい。
		不動産業	当社の店舗に関しては3か月前よりは良くなっているが，県南の業界全体としては良くなっている会社と悪くなっている会社があり，身近に感じられる業況感全体としては変わらない。
		サービス業（広告業）	特別な動きがなかった。
	雇用	学校関係者	大卒の若年者の就職希望者が増えている。景気低迷による先行き不透明感から新たに資格を取得し直して転職したいと希望しているものの，希望職種（事務系）の採用がないことが原因。自動車業界では新規店舗を増設する企業が相次ぎ好景気が続いており，業種格差が大きいと感じる。全体としては悪い状況で停滞していると感じる。
やや悪くなっている	家計	小売業（酒類）	7月，8月は祇園祭，中元，お盆など有りましたのでいつもの月に比べて良かったと思いますが，今月は天候の関係もありますが悪くなっていると思われます。
		スーパー	客単価が下がっている。
		小売業（生花店）	駅前の百貨店撤退に伴い，駅前通りの人通りは全くなくなった。集客のできる店が駅周辺になくなり，買物難民が増え，郊外のショッピングモールへ駅周辺の住民も流れている。駅前からモールへの連絡バスが時間帯により満員状況で駅前から出発する。まるでトロール船のようだ。
		ボウリング場	大企業従事者等は金の回りは良いようですが全体的にはお金が動かない。鈍い。
		理・美容店	お店のお客様には公務員の方が多く，これから公務員官舎の廃止に向けて住宅を探している方が多く，そのために髪の毛にかけるお金は減っていると思われる。引越でお客様が減る，理容にかけるお金は減る，から見て，景気はやや悪くなっていると思う。
	企業	製造業（食料品）	円安によるオイル関連の値上げによりガソリン，石油関連製品，電気料の値上げにより製造原価が上がっている。それでも製品は値上げ出来ない。アベノミクスで儲かっているお客様はほんの一部だと思います。
悪くなっている	企業	製造業（家具・装備品）	祭りやお盆があって来客数は多かったが，昨年に比べると，お盆の目玉商品の提灯の売上が悪く，専門店で買うより大型店舗に流れたのかもしれない。
		建設業	当社では5か月前から極端に受注が激減しています。一時は営業力不足かと判断し社員にもハッパをかけましたが，企業廻りをしていても，相手側が全然元気がありません。トップ及び工場長などに尋ねて見ても，注文が3～4割減って注文するどころではありません。（当方に）こんな状況下でも更に価格の値下げを要求して来ます。世の中どうなって行くのか心配です…と。

（５）県西地域　【現状】　　　　（－：回答が存在しない。　○：主だった回答等が存在しない。）

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	農産物直売所	景況感は少しずつ良くなってきていると感じます。売上げについても前年比123%と向上していますし，客単価も上がってきている。
		和食食堂	6月に比べると今月の方が予約も入っており，伸び率がやや良くなっている。
		ラーメン店	売り上げ数字は上がっているので，良くなっているのかとも思うが，選挙があったり夏休みという事もあり売り上げは上がったのかと考える。
		タクシー会社	売上が前年対比増になり，タクシー利用客（法人）が，増えて来ている。
		タクシー運転手	営業回数，特に配車回数が増えて来ている。
		タクシー運転手	乗車回数が増えた。
		タクシー運転手	工業団地へのお客様が増えてきている。
		理・美容店	円安のことは客同士で話が多い。ガソリンの高値は困るが景気は回復の方向だと思われる。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	予想したよりも注文が多いのが当社の現状況ですが，ただ他社の同業者の皆さんの多くは仕事が少ないと言っている方の声をたくさん耳にします。当社の業界で同じ業態をしている会社は，他に無い由かもしれません。
		製造業（金属製品）	業種（生産品）によって差はあるが，引き合い件数は増えつつある感じはある。但しコスト的には相変わらず低空飛行であり，利益確保はなかなか難しい。
		製造業（電気機械器具）	短期ではあるが，受注量増による作業人員増員の要請が出てきた。
		電気工事業	仕事の量が上昇傾向にある様に思われる。
		不動産業	賃貸物件に希望単価がアップしている。高額物件の入居率がアップ。
	企業	人材派遣業	取引先から，仕事の依頼が少し増えた。
		求人開拓員	自動車関連の求人が増えている。
変わらない	家計	商店街代表者	当店の売上げ額から見て変わらないと判断しました。
		スーパー	客数，品単価，客単価共大きな変化はない。
		コンビニエンスストア	客単価や買上点数については大きな変化がないが，取手・守谷市内で2店舗のコンビニエンスストアが開店しており，客数は苦戦している。天候の影響（プラス要因）と相殺といった感じです。
		家電販売店	季節要因で好調な部分もありましたが，全体で見ればあまり変わっていない。
		専門スーパー	特に変化を感じない。
		ガソリンスタンド	目に見えてアベノミクス効果が出ているとは思えない。
		都市型ホテル	季節的なものもあると思いますが，特に8月に関しては厳しい状況です。猛暑のせいか，ご年配の方が出歩いていない。
		ドライブイン	客数，売上共に大きな変化はない。
		ドライブイン	来店者数，客単価ともに大きな変動はなく，良くなっているとは言いがたい。
		ゴルフ場	予約状況から，変わらないと判断した。
		ゲームセンター	6月，7月は前年の売上を越えましたが，8月と9月は前年の売上を越える事が出来そうにない。トータルで考えると前年並の状況です。
		レジャー施設	普段の会話の中で景気の話題自体が上がらなくなっている。
		理・美容店	最近はカットの周期が前と比べて，いく分短くなってきている。
		建築設計事務所	一時期のざわつきがなくなり落ち着いた。
		住宅販売会社	経過措置前の駆け込みも落ち着いている状況。
	企業	農業関係者	毎年9月の梨豊水の直売での売上げが低下している。10kg箱から5kg箱への購入の変化が見られる。
		農業関係者	お客様の動きがいつもと変わらない。
		製造業（食料品）	売上や仕事の引合いはコンスタントに入っているが，はっきりと増加傾向は感じられない。かと言って，減少もしていない。

変わらない	企業	製造業（印刷・同関連業）	少子高齢化の波が地方にも及び，介護・老人福祉施設関係の人々と車（マイクロバス等）が街の中，年々増え続けている。それに関係する職種は好景気という言葉が当てはまる。というのも変ですが，恩恵を受けているのも確かだ。時代の波に乗ろうと努力しているが，製造業には厳しい時代だ。
		製造業（印刷・同関連業）	アベノミクスの効果が感じられない。依然としてデフレスパイラルの渦から脱していない経営状態。「行きつく先は」と思うと不安になる。
		製造業（化学工業）	顧客業界により差があるものの，全体としての受注量はほぼ横ばい。
		製造業（一般機械器具）	見積の話はあるが見積った半分位しか受託がない。今までなら見積った90%は受託できた。
		建設業	大都市のみが活性化している気がする。
		金融業	一部には受注が増加傾向にあるなどの動きも見られるものの，全体的には従来の状況と特に大きな変化は見られない。日常生活においても一部マスコミで報じられているような好景気感はない。
		サービス業（ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ業）	筑西道路や圏央道およびそのアクセス道路の設置工事が行われており賑いはありますが，一般の消費者には殆ど影響はないと思いますので変化は感じられない。
		サービス業（広告業）	特別な動きがなかった。
	雇用	公共職業安定所	4月の新規求人数に対し，7月の新規求人数は同水準。産業別で見ると製造業では減少しているが，派遣・請負求人などは増加傾向にあり，製造業の仕事量は増加しているが直接雇用にまで至らない状況である。
		学校関係者	仕事量が増えつつあるとの声も聞くが，価格・材料費が厳しく景気に反映されていない。
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	客数・客単価ともに下がってきており，消費がやや落ち込んできているように感じる。
		自動車販売店	前年の普通車の市場が80%になってしまっている。今，使用になられている車の修理が減っている。
		和食食堂	売り上げが若干減少している。
		和食レストラン	天候不順の為にお客様の入りが伸びない。
		日本料理店	物価が上昇しているが一部を除いて賃金が下がっている。したがって財布の紐が固い。
	企業	製造業（食料品）	原料高や資材高のため値上げを行っているので売上げが落ちている。世間では一部の業種で良いという話はありますが実感的にはそのようには感じない。
		製造業（印刷・同関連業）	紙の仕入値段は高くなっても，お客様には値上げ出来ていませんので利益率は増々下っています。
悪くなっている	家計	商店街代表者	東日本大震災以降，現在に至る迄，必要な物にしか出費しない傾向が如実に現われていると思う。
		旅行代理店	燃料代が高くて困る。物の値段が上がってきた。
		クリーニング店	猛暑と天候不順の影響か，外出を控える人が多いような気がしました。

Ⅲ　景気の判断コメント　―　２　景気の先行き判断コメント

（１）県北地域　【先行き】　（－：回答が存在しない。　○：主だった回答等が存在しない。）

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	観光型ホテル	徐々にではあるが，消費が多くなると思われる。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	工事（売上げ）予定が入って来ている。
		コンビニエンスストア	消費税の増税に向かう中で，増税までは商品動向は良くなると思います。
		小売業（工具）	昨年より株価は好転しているので，年末には良くなると思われる。消費税のアップが来年予定されているので，駆け込みで良くなるかもしれない。ただし，その場合，来年はマイナスの反動があるだろう。
		自動車販売店	消費税率が上がるのが決定すれば駆け込み需要があり，一時的な売上げ増は期待できるが景気が良くなったとは言えない。
		小売業（時計）	アベノミクスの期待は少し多く見たようで，少々ガックリですが，消費税云々の中で，少し使ってくると期待有。
		スナック	消費税の関係もあるかもしれませんけど，新築，新車の購入をする人が増えている気がする。
		観光型ホテル	日帰り宴会予約は前年同期と変わらないが，宿泊予約は前年より増加しており，平日も満室が多くなっている。そのため3か月先の景気は「やや良くなっている」と判断する。
		タクシー運転手	この時期景気が良くなるようなネタは特に無かったが，2020年に東京オリンピック開催が困難を乗り越え決定した。このことは直接関係が無い企業でも少しは良い影響を受けると思います。今，何事につけ前向きな非常な盛り上がりを感じます。それに期待して，とりあえず景気はやや良くなっているとします。
	企業	林業関係者	この状態を保てれば良くなると思われる。
		製造業（製缶）	9月以降に多少の情報があり。
		製造業（電気機械器具）	現在の状態が続けば，3か月先は更に良くなると見込むことができる。
		情報通信業（情報ｻｰﾋﾞｽ業）	昨年より商談は増えているので，受注量も少しずつ増えると思われる。
		サービス業（広告業）	消費税アップの話題で，建設にかかわる仕事系の問い合せが増えてきた。
	雇用	学校関係者	建設業を中心に，求人の問い合わせも多くなってきている。
変わらない	家計	スーパー	景気が良くなるような兆候が見られない。
		スーパー	変わらない。変わる要素がない。今の経済状況で変わらないことはいいことかもしれない。
		スーパー	急に良くなっているわけではないのでジワジワと良くなると考えています。
		小売業（弁当・惣菜店）	特に変化する要因が見つからない。
		小売業（燃料）	輸入品関連の価格上昇が景気回復より早い。
		小売業（酒類）	近隣の事務所，仕事量が減少している。実体経済は明るくないと考える。職場の行事も控えめになっている。
		小売業（水産物）	先行きが見えない。お客様の購買欲も高まったように感じられないので，3か月先も良くなっているとは思えない。
		タクシー運転手	消費税アップへの不安，原発の汚染水問題等，不安な要因が多いと思います。
		ゴルフ場	10～12月の3か月の現時点の予約数は前年比50%と慎重な動きが見られる。前年の衆議院選挙への期待と不安とがあり，前年は先行き不透明さがあり，心配されたが今年は消費税・TPPの動向が大きな関心事になっている。
		レジャー施設	景気が左右される要因が見られない。
		ゴルフ場	個人のゴルフの回数が増えているようには感じない。
		住宅販売会社	住宅の場合，10月以降の契約だと，引渡しが4月以降なら増税後の消費税が課税されてしまうため，増税前の駆け込みはもはや間に合わない。
	企業	水産業関係者	現段階で変化する見通しなし。
		製造業（一般機械器具）	製品の出荷計画が現在と変わらない計画となっている。
		製造業（電気機械器具）	受注は横這い，作業量も特段の変化はない。
		製造業（電気機械器具）	現在の状況が今後3か月先も継続する見込みである。鉄道関連が落ち着きそうであるが，半導体関連の作業量が若干増えている。
		製造業（電気機械器具）	今より良くなる要因が特に思い付かない。今より悪くなる要因が特に思い付かない。
		製造業（電気機械器具）	取引先の生産計画，受注状況に変化が無い。
		製造業（輸送用機械器具）	国内は来春に予定されている消費税アップが実施されるかが大きな環境変化と想定。実施前の駆け込み需要が発生すれば，一時的であるが景気の好転要因となるものと判断する。

変わらない	企業	建設業	見積依頼も多い状況であるが，原材料や人件費等は上昇傾向にあり3か月先もあまり変わらないと思う。
		運輸業	顧客である企業の生産計画が変わらない。
		金融業	地元中小企業経営者からは，先行き不透明との意見が絶えず，地域景気が活性化するにはまだ時間がかかりそうである。
		不動産業	消費増税については，政府の方針決定している時期である。供給（住宅）物件は，労務費，資材費の高騰により販売価格を上げざるを得ない。しかしながら依然として，引続き，所得の伸び悩みや低下（その不安含む）があるなかで，購入や取得の決め手がない。
	雇用	公共職業安定所	昨年12月～3月にかけて管内主要企業での早期退職・退職支援制度の実施があり，さらに6月まで追加実施された。下請け企業を含めた管内企業等への影響があるものと思われる。当所の5月から7月の有効求人数をみると，対前年同月比で5月－6.4%，6月－1.2%，7月－4.2%となっており，依然，厳しい状況である。
		求人開拓員	正社員のリストラをして，請負従業員で補充しているので，募集があるからといって景気回復につながらない。
やや悪くなっている	家計	商店街代表者	老人もしかり，若年層も正規雇用でないため，可処分所得が少ない。特に地元では大手工場の吸収合併による全体的雰囲気が不景気感を押し出している。
		衣料品販売店	依然として財布の紐は固い。
		旅行代理店	現在の受注状況が前年を下回っている。
		ボウリング場	10代，20代のお客様が減少している。
		クリーニング店	お客様の会話からも何一つ景気の良い話はなく悪い話ばかりである。
	企業	製造業（電気機械器具）	先行11月，原材料の高騰の影響により，利益率は減少傾向にあり，3か月先もこの傾向は続くと思われるので景気はやや悪くなると思う。
		製造業（電気機械器具）	親会社の減産等（理由は不明）により受注・売上が減少傾向にある。
悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	地元大手企業の関連企業の状況が非常に悪い。求人も少ない様子で県外への流出が起きている。
		居酒屋	宴会が無い。
		タクシー運転手	税金の値上げが目に見えるから，悪くなっていると判断した。
		ゴルフ場	商店街の店主たちから店を閉めたいと相談を受ける事が多い。

（２）県央地域　【先行き】　（－：回答が存在しない。　○：主だった回答等が存在しない。）

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	ゴルフ場	当倶楽部を例えれば，シーズンに入り来場者数は増加傾向を示している，但し，収支的には期待が出来ない。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	消費税の増税はほぼ決定的。一時的だと思うが，増税前の駆け込み需要が期待できそう。
		商店街代表者	昨年の12月以降は政権交代して，アベノミクス等や期待感から景気が一時上向いて，来店数や売り上げ，客単価も，20%位上昇したが，その後，低迷してしまった。今年の3か月先の12月は，2020年東京オリンピック・パラリンピック開催の決定で，日本国の地位の向上，五輪特需，国民のお祝いムード等で景気が上向く期待感がある。
		百貨店，総合スーパー	3か月先の12月はクリスマスや歳暮商戦があり，来店客数は増加し，売上は伸びると思われる。また，消費税増税前の駆け込み需要で高額品の売上も伸びると思われる為，景気はやや良くなると思う。
		スーパー	9月度現在も前年比102%で伸長してきており，このまま推移するのではないかと判断する。
		コンビニエンスストア	オリンピック東京開催決定による建設関連の景気回復，消費拡大が期待できる。
		自動車販売店	消費税アップを来年に控えて需要は増えると思われます。
		割烹料理店	忘年会シーズンに入るころなので，良くなる事を願いたい。
		ドライブイン	これからは少し予約も入って来ています。又，秋の観光シーズンも迎えますので，立ち寄っていただける事を期待しています。
		レジャー施設	団体客の予約も徐々に戻ってきているので，緩やかではあるが回復の兆しが見られる。
		建築設計事務所	消費税アップ前は仕事量が増える傾向にある。
	企業	製造業（印刷・同関連業）	付加価値が付いた仕事が増えており，経常利益率は良い数字が出ている。
		情報通信業（情報ｻｰﾋﾞｽ業）	消費増税が，営業面に与える影響が読めず不安。投資を抑制していた顧客から，除々に商談が生じてはいるが，業界内の競合が著しく，利ざやの確保は一層困難になると懸念する。顧客談から，現在よりは市場の活性化が期待できることから，景況感は徐々に上向くと思う。
		サービス業（広告業）	消費税アップの話題からの駆け込み受注がありそう。
	雇用	学校関係者	企業の求人状況を見ると，前年より求人企業数が増加しているので，今後3か月先の景気もやや良くなっていくのではないかと思う。
変わらない	家計	百貨店，総合スーパー	お買物の仕方的には変わらず慎重さがある。
		スーパー	住宅，車業界など商品の動きが良さそうですが，食品は単価も上がらず，変わらずの状況です。
		スーパー	良くなる理由が見当らない。
		コンビニエンスストア	食料品等は大きな外的変化が無い限り変化は少なく，景気を左右するほどではない。
		家電販売店	仕事の予約が少ない。
		農産物直売所	県外からの来店がわずかずつ回復傾向にあったが，原発汚染水の報道があった為，県外客の伸びに期待がもてない。
		スーパー	春先にかけて上昇してきた株価もぱっとせず，腰折れ的な感じがする。
		レストラン	消費税増税に伴う景気への影響を考え，現在は大きく変化することはないと考える。
		レストラン	現在の状況が大きく変わる要素がない。年末にかけボーナス等の支給が多くなれば変化は出ると予想されるが，期待を持てる状況ではないと思われる。
		都市型ホテル	予約受注のペースを見てもさほど変化がない。
		都市型ホテル	3か月先の予約状況も大きい変動はなく，例年通りの予約の推移となる予想。単価も同様と思われる。
		観光型ホテル	今後の政府の景気対策によると思う。
		タクシー運転手	相変わらず低水準で推移するでしょう。急に良くなるとは思えないのは，周りがたとえ景気が良くなっても，年金暮らしの人には関係あるはずがないです。むしろ政府で騒いでいるデフレ脱却等の方が年金暮らしの人には重くのしかかるのではと思われます。
		タクシー会社	好転する要因が思いつかない。
		旅行会社	宿泊で行くお客様がまだ少なく，期待はできない。
		観光名所	予約状況からあまり変わらないと思う。
		カラオケ店	良くなるきっかけが見当たらない。
		レジャー施設	解約（利用廃止）の申し出がない。
		理・美容店	私の店は40才～上の方が多いが，年配のお客様の来店サイクルも長くなっている様な気がする。40才，50才の方は相変わらずであり，良くない。子供の教育に大変な年代なのかも？
		理・美容店	消費税がアップが決まり，やや不安を感じる。

変わらない	企業	製造業(食料品)	海外メディアも大きく取り上げている福島原発汚染水の問題が，大きく影響している。
		製造業（印刷・同関連業）	良くなる気配が感じられない。
		製造業(金属製品)	現在の状況がしばらく続くようです。東京オリンピックが決定すればさらに良くなると予想されます。
		製造業(一般機械器具)	こちらも変わらないと言うより，やや良くなるかも知れない。国の補助金が動き出すのでは。
		建設業	今の経済が変化（変動）するポテンシャルは存在しない。
		運輸業（道路貨物運送業）	大きな動きは無いと思われる。
		金融業	期待感だけが先行していることや地方まで回復に時間がかかることから，景気は変わらないと判断する。
		不動産業	新築の物件が増えており，建てる家主様メーカーはかなり良さそうであるが，物件（既存）は多くあるので，需要と供給のバランスはまだまだ改善されていないと思われる。
		サービス業（広告業）	年末商戦に入る時期だが，あらゆるものの値上げによる，切り詰めの意識が強い。
		サービス業（ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ業）	依然として好調は続くと思われるが，一方で心配な部分も出てきている。衣料品については，暑さで単価の高い秋物が売れず苦戦している。また，小麦や原油などの輸入価格の上昇により，飲食店や衣料品店の原価率が徐々に上がっており，今後の経営に悪影響を及ぼすと考えられる。
	雇用	人材派遣業	先行きの受注増の予定もまだ来ていない。
		公共職業安定所	今後も緩やかな景気回復傾向は持続していくものと思われるが，当所管内において今年度も一定規模の会社都合離職者の発生が見込まれている。また，当所独自の調査によると幅広い業種において円安傾向，原油価格高騰，電気料金の値上げ，消費税の動向等が大きく影響していることが明らかになり，先行き不安要素が見られる。
		求人開拓員	新聞・テレビ・雑誌等マスコミでは，明るいニュース（アベノミクス・オリンピック）が飛び回っています。しかし，求職者は実感がない。求人件数，求人人数は増加傾向ですが新規の求人企業は少ない。
やや悪くなっている	家計	スーパー	各地で異常気象による被害もあり，値上げもあり，後期高齢者の負担増もありで，ご高齢の方々は生活が厳しくなるなどと話しており，良くならないと思われる。
		専門スーパー	客数，客単価共に少しずつ減少してきているので，3か月後も同じような傾向になっていると思われる。
		レストラン	ブライダル関連の伸びがなくなり先行きも悪い状況です。
		旅行代理店	円安ドル高による収益の悪化，福島原発汚染水による風評から，やや悪くなっていると判断した。
		タクシー運転手	3か月先の12月はクリスマスや忘年会があり，受注が増える時期であるが，それは毎年のことである。このところの燃料費高の影響などにより客単価，利益率は減少傾向にあり，3か月先もこの傾向は続くと思われるので，景気はやや悪くなると思う。
		タクシー会社	中東シリアの内紛が激化している中で，世界の動きが活発化している。そんな情勢の中で燃料費が高騰し続けている。石油輸入の多くを中東に頼っている現状で，ガソリン・LPガスの燃料費高騰は利益減少に直結し，家計にも大きな影響を及ぼし消費引締めに走らなければならない状況になると思われる。
		住宅販売会社	これまでの駆け込みの反動が徐々に出てくると思われる。
	企業	農業関係者	米の販売価格が生産過剰により下落すると予想されており，秋の収穫期を迎え豊作となっても，農家収入は減少が予測される。
悪	家計	ボウリング場	ボウリング場としては昨年店対比では10%ほど悪くなっています。
	企業	製造業(食料品)	小麦粉，牛乳，油等，食料品，電気料金の値上げにより，消費は増々細くなる。
		製造業(精密機械器具)	自社ブランド製品の市場が縮小傾向にあり，売上も減少しています。その隙間を埋める役割のOEM受注が，予想外に落ち込んでおり，今後この影響が避けられないと考えます。

（３）鹿行地域　【先行き】　　（－：回答が存在しない。　○：主だった回答等が存在しない。）

回答	分野	業種・職種	コメント
良	－	－	－
やや良くなっている	家計	商店街代表者	これから涼しくなり，日中お客様がいらっしゃるようになるので，日中の購買力が上がるので売上が上がる。
		家電販売店	10月に向けての消費税増税によって年末の売上は大きく伸びると予想されます。
		小売業（菓子販売店）	マスコミや政府の景気回復報道で気分的に消費が増えるかもしれない。
		レストラン	オリンピックが招致できて，少しは日本全体が良くなると思います（特に観光事業）。
		タクシー運転手	2020年五輪開催が決まり，景気回復に期待したい。
		タクシー運転手	年末の繁忙期になりますので，やや上向くものと思います。
		和食食堂	日本経済が良くなったからだと思う。
		ゴルフ場	3か月前より予約推移が向上している。需要も強く感じられる。
		理・美容店	（ぜいたく用）支出に回せるお金が増えてきていると思う。
		住宅販売会社	増税が正式に決定することで，次の増税も考えた中での住宅計画者の動きに期待できる。
	企業	製造業（食料品）	前期より良くなる様期待するのみ。
		製造業（食料品）	今後は季節的に海水温低下が予想されることから，ある程度の漁獲量増加が見込めるとは思いますが，為替円安により海外向冷凍魚の引合も強いことで魚価水準の高止まりが考えられます。大手量販店とNBメーカーの交渉で缶詰販価がどの程度引上げ出来るかで，関連業界の景況が決まります。
		製造業（輸送用機械器具）	消費税3%アップ導入による駆け込みがあると思う。特に高額品について一時的に需要がある。
		製造業（鉄鋼業）	国内需要が増加傾向であり，高水準の生産が見込まれる。
		運輸業（道路貨物運送業）	ここにきて最近，東北方面に鋼材の輸送が多くなりつつある(災害復旧関連の資材）。
		サービス業	いわゆるアベノミクスと呼ばれる経済対策効果が実態を伴ってくると考える。特に製造業関係で改善すると考えている。
	雇用	学校関係者	企業見学会等，積極的に実施しており，企業としても業績が上向いているのではないか。
		就職支援センター	若干楽観的な見方かも知れないが，当地域でも企業マインド的には社会全般の傾向の中で前向きな投資に伴う求人の増加が考えられる。
変わらない	家計	小売業（食品）	秋のお彼岸から12月のお歳暮の動きに期待したい。昨年並でしたら良い方なのかなと思います。
		商店街代表者	輸入物価高騰傾向にある中，低所得者の底上げが難しいと思う。
		スーパー	これといった景気を変動させる要因が見当らない。
		スーパー	少しずつ値上げされる商品をなるべく値上げしない様に努力しているが，メーカーでの容量の変更で見た目は同じでも実質は値上げの商品が少し出ている為，お客様は余分に買わない。ムダ使いを食品に関してはしない。
		コンビニエンスストア	消費税増税への不安感からお客様の消費動向に変化はないと考えます。給料がアップしない限りで無駄使いしないという節約志向に大きな変化はないと感じます。
		コンビニエンスストア	消費税増税を前にして大型の消費に多少なりとも動きが出る一方で，生活必需品への節約志向は増すことが予想され，そこのマイナスを打ち消す為に価値ある商品の提供がより必至となる。
		農産物直売所	ここまでの前年対比でほぼ変わらない。
		小売業（薬品店）	消費税の税率が来年上がることで，消費者は税率が上がる前に大きな買い物はすると思うが，薬や日用品に限っては買い控えをすると思う。
		小売業（金物店）	鉄鋼の需要が変化が見込めない。また円安で輸入コストの上昇で企業の設備投資が減り，状況はあまり良く無いと思います。
		小売業（書店）	夏場は多少上昇したが，諸々経費（ガソリン,光熱費高など）の高騰，娯楽後回しの気配はある。
		衣料品販売店	客数（%）で変化がない。
		洋食食堂	ランチタイムは集中的に忙しいが，夜の時間帯がもう一つ良くない。このパターンが続くと思う。
		タクシー運転手	上向きの状況変化を期待できない。
		タクシー運転手	自分達のお客さんは日中は高速バスでの企業への出張者が多く，高速バスが来てもタクシーの動き方はあまり変わらない。又，夜も回数こそ若干多いが近場が多く売上げが上がらない。
		理・美容店	以前よりは政治も落ちつき普通になってきたが，まだまだ不景気は変わらない。

変わらない	企業	製造業（化学工業）	更なる原燃料高騰も予想される中，価格転嫁に向けた交渉をせざるを得ない状況だが，難航が予想されることから，今の状況がしばらく続くと思われる。
		建設業	アベノミクスといわれ，好景気といわれており，公共工事に期待するところがありますが，先行の見通し的には，まだまだ明るくないように思われます。
		金融業	政府の政策等により，今後の景気は回復していく基調はあるものの，その効果が経済の末端まで行き渡るまでには時間を要する為，3か月先も景気は変わらない。
		保険業	コシヒカリの価格が前年より3,000円安，12,000円で取引きされている。
	雇用	人材派遣業	震災復興需要と最近の天災対応，そして秋から年末にかけての需要動向と輸出の動きが，いい方向に転回していくことを期待しています。それが結果的に消費に結び付くかに有ると思います。但し，シリア・エジプトなど石油産油国の動きと燃料価格の動向も大いに気掛かりの所であります。
		民間職業紹介業	地域の中小企業の現状から考えても、求人求職状況に変わりはないと思う。
		公共職業安定所	現在のような状態が引き続きあると思える。
やや悪くなっている	家計	小売業（酒類）	一時的に増税時に駆け込み需要は考えられるが，見通しは明るいとはいえない。
		割烹料理店	物価は少し上がっているようで，仕入れの経費などはかさんでくるが，売上げが伸びないことには良くならない。
		ドライブイン	消費税の引き上げがどのように消費者に影響を与えるか心配。
		レジャー施設	円安による原材料高騰による影響を打ち消す程のこれら産業に対する需要が生じない限り良くなることはないと思われるところ，新興国との供給競争から回復はむずかしいと思われる。
		クリーニング店	秋の収穫のさつま芋，野菜の値段が安いと客単価や利益率は減少傾向にあります。
		室内装飾業	収入が減っている状況で購買意欲が増すと思われない。
		住宅販売会社	増税は間違いなく実施されるだろうから，悪い方向へ進むと思われる。
	企業	製造業（食料品）	油脂・小麦粉・乳製品の値上げ報告が，また聞かれる様になり原材料の値上げは止まる事がない。先には消費税の増税も在るし，視野には入れて置かねばと思う。オリンピックの招致など明るい方向にと進んでいるが，現実は厳しい！　今，出来る事を着実に行い少しの伸びにつなげ，明るい見通しの出来る様にしたいです。
		運輸業（道路貨物運送業）	どこの荷主さんに聞いても一服感が強い状況にある。先行きの進展性を感じる要因が見つからない。報道と実経済の開きが大きくなっている気がする。
		不動産業	ちょうど消費税がやるのかやらないのかの答えが出て3%は決定かもしれないので，ムダなお金を使わないかもしれない。
悪	家計	日本料理店	消費税が上がれば前回と同じように（3%時，5%時）飲食店はかなりダメージがあると思われる。給料など一部でパフォーマンスのように数%上げたようだが，それ以外の人は，給料が上がってもないのに負担が増えれば交友費を控えるのは当然の動きだと思われる。
		観光型ホテル	県知事選挙候補者に全く期待感がない。

（4）県南地域　【先行き】　　　　　　　　　　　（－：回答が存在しない。　○：主だった回答等が存在しない。）

回答	分野	業種・職種	コメント
良	企業	製造業(非鉄金属)	引き続き受注量が増加傾向にあり，フル操業を予定している。ただし，さらに電気・ガス料金の値上がりが予想され収益面を圧迫することから，社内効率化・コスト低減の施策展開の取組をさらに強化予定。10月以降も引き続き高水準の生産・受注が続く予定(主取引先大手自動車メーカー，国内はより海外，特に北米が好調である)。
やや良くなっている	家計	コンビニエンスストア	商品，サービスに対し価値を感じる事が出来れば購入につながっており，今後3か月先においてはやや良くなっていると考える。
		和食食堂	東京オリンピックにあやかり国民の気分も高まり，消費の増加が見込める。
		都市型ホテル	宿泊については予約が多少増えて来ている。宴会・レストランにおいても予約は増えているが，一人あたりの単価の伸びがない。
		タクシー運転手	市役所でお年寄りに商品券を配布したので，少しはタクシーの利用が増えると思われる。
		旅行代理店	旅行シーズンと言う事もありますが，以前と比べて少しずつではあるものの来客数は増えていくと思います。
		タクシー会社	このまま伸びて行く様な気がする。
		ゴルフ場	予約状況が先行して（2～3か月先）増えている。
		ゴルフ場	横ばいで続いていた景気について，これから3か月先は多少上向きに感じられる。オンシーズンに向けてコンペ等早目の予約が目立ってきた。早目に予約を入れるという事は，それだけ幹事の方が人数を集められると判断していると思われる。
		ボウリング場	公共投資も増え，大企業従事者の金も出て来るであろう。
		建築設計事務所	来年に1件分話があった。
		住宅販売会社	増税前の消費拡大により，一時的に景気は上向いていると思われる。
	企業	製造業（窯業・土石製品）	秋口に入り，需要期になるので良くなっていくと思われる。
		製造業（窯業・土石製品）	公共事業も本格化してくるので受注も順調に推移してくると思われる。
		建設業	年末は工事受注が増えてくるのは毎年のことである。しかし，現在の工事受注も多く，見積りの提出も多い。消費税がらみで多いものかもしれないが，3か月先も景気は今よりもやや良くなっていると判断する。
		建設業	消費税問題はあるものの，来春までは多少上向きになるものではないか？　大きめの工事（住宅新築，大型外構工事）で来春までに引き渡しもあり，大・小工事が発生しそうである。
		サービス業（広告業）	消費税アップの駆け込み受注。
	雇用	求人開拓員	正規雇用の数は増えないと思うが非正規の雇用は増えると思う。
変わらない	家計	スーパー	景気上昇傾向であると言われているが，業種，職種によりけりであり，売上高，客単価の前年比で多少伸びはあるが，ほぼ変わらないと言える。
		スーパー	良くなる要因が無い。
		農産物直売所	前年対比，前月対比とも変わらない。
		専門スーパー	日常に使う消耗品が中心なので，期待は出来ないと思う。
		洋食食堂	若い夫婦のお客様が2組いまして，どちらも1,500万の家を買いましたが，中古の家でローンは2,000万以内で決めています。無理して買った時代は周りの様子を見ても昔の話かも。
		寿司店	市場はいついってもガラガラ，お客様同士でどうだい景気はなど話してもいい話はほとんどない。市場が暇という事は？
		都市型ホテル	予約オンハンドの状況では，例年の営業努力だが，予測では厳しい状況である。この状況より判断すると景気は変わらないと思われる。
		タクシー運転手	地元企業決算に向上が感じられない。個人所得の上向きが感じられない。又，企業接待（交際費）の増加も不安である。
		タクシー運転手	1年ぐらいは変わらないと思う。
		タクシー運転手	消費税の先き行きを考えると横ばいと考える。
	企業	製造業（食料品）	景気が回復していると言われていますが，私の周りでは景気が良くなったとは，聞いてない。
		製造業（飲料）	景気が動くような事を聞かない。
		製造業（一般機械器具）	変わるような材料が見当らない。
		金融業	燃料費の高騰や，円安による原材料の値上げを考えると経費率が上昇し利益を圧迫する懸念がある。又，円安の恩恵は，中小企業には届きにくい。

変わらない	雇用	人材派遣業	一時的に年末に向けての受注数は通年増加傾向にあり，通年以上の増加は現状のところ見込める様子は無い。
		学校関係者	大きく変化する良い要因がないため変わらないと思う。消費税増税の影響で買い換えがあるとしてもその分他の物を節約して全体では変わらないと思う。
やや悪くなっている	家計	小売業（酒類）	物価が上がり消費税の事もあるので，買い控えになると思われますので，悪くなっていると思います。
		スーパー	12月は1年で売上が最も高い月だが，このまま客数が前年比で減少し続けると，売上に大きく影響しそうだ。
		スーパー	依然として低価格品への支持が高いので，今後の社会情勢からくる物価上昇により購買意欲が低下すると考える。
		コンビニエンスストア	消費増税のマスコミの取り上げが増えることで，消費者の買いしぶりが増すと考えます。特に小売店を利用する一般の方々の多くはその様に考えると思います。
		小売業（生花店）	次年度消費税の増税の関係で，消費者はお金の行き先を耐久消費財の購入へ向かわせており，小売店の消費者離れはますます進むと思われる。消費増税前の駆け込み消費は個人収入（年収）が増えていないことを見ると，消費の息切れがすぐ目前に迫っているように思う。
		ガソリンスタンド	消費税アップが決定すると心理的にお客様の購買意欲が減退する可能性がある。
		タクシー運転手	消費税アップが決定すればさらに悪くなると思う。この業界が一番影響を受ける。
		パチンコ店	消費税アップの時期が近づくにつれ娯楽への出費を抑える傾向になると思う。
		理・美容店	うちのお客様は公務員の方が多いので，公務員官舎の廃止，給料の減少，物価の値上り，どう考えても悪くなるとしか思えない。
	企業	農業関係者	昨年の米価高値から本年産は安値に転じ，消費低迷になると思われる。
		製造業（食料品）	現在の状況が3か月で解決するとは思わない。
		製造業（印刷業）	冬に向け来店数が減る見込みで，増える見込みが立たない。
		運輸業（倉庫業）	工場での生産が縮小傾向になっているため，少しずつ悪くなるような気配が出てきた。
		不動産業	消費税の駆け込み特需も今年9月の今月がピークで，反動として今後3か月平均でやや悪くなっていると思う。景気全般としても末端業況ではやや悪いと思う。
悪くなっている	企業	製造業（家具・装備品）	お客様の仏事や神事に対する気持ちが少なくなってきた感じがある。特注仏壇についても小さくて安いものばかりになっている。
		建設業	まず向こう3か月の受注（小口500万円以下）がほとんどありません。まして，大口1,000万円以上の物件も見当たらず，民間企業には拾数社の営業範囲先では引合いがありません。47年目にしてこのような環境は初めての経験です。アベノミクスの発表時点では，日本の景気はこれで大きく流れも変わるだろう，と胸をふくらませて受注を待ち望んでいましたが夢と期待は大きく砕かれました。希望遠くなる。

（５）県西地域　【先行き】　　　（－：回答が存在しない。　○：主だった回答等が存在しない。）

回答	分野	業種・職種	コメント
良	家計	都市型ホテル	企業様主体の宴会の客単価の上昇は変わらない様に見受けられますが，宴会場の内装のリニューアルを予定していますので，オープン景気も含め，「景気は良くなっている」となる様に願うばかりです。
	雇用	人材派遣業	取引先からの依頼が多くなった。
やや良くなっている	家計	商店街代表者	異常気象で“猛暑”の夏が終わり，秋・冬に向けての買物への上昇気分を期待せざるを得ない。
		農産物直売所	今後については一人あたりの購入点数及び客単価が伸びそうなので，売上げも伸びてくると思います。
		ガソリンスタンド	太陽光パネル関連やリサイクル業者のお客様が好調のようだ。
		タクシー会社	タクシー業界の繁忙期（12月)が来るので期待する。
		タクシー運転手	現状が良くなって来ているので，期待している。
		タクシー運転手	景気が上向きになっていると思う。
		タクシー運転手	今の景気がここ数か月続いている為，今後も続いていくと思われる。
		理・美容店	財布の紐も少し緩くなっていると思う。当店でも男女とも特殊技術が多くなっている。
		住宅販売会社	特に高額商品等の増税前購入が増えると思われる。
	企業	製造業（食料品）	これから仕事量は増えると予想するが，現在の我が社のマンパワーでは全ての仕事を受け切れない。人員を増やしたいが，以前と比べて，人が集まりにくくなっている（応募が少ない）。景気が一部業種で好調の為ではないかと思われる。
		製造業（印刷・同関連業）	昨日，2020年，東京にてオリンピック開催が決定した。最終プレゼンで安倍首相，猪瀬都知事，竹田理事長，他のスピーチを聞いたが，福島原発の汚染水の問題もあったが，日本中，国民一人ひとりが，ここまでまとまったのも久しぶりだ。素晴らしかったスピーチ，そしてアスリート達の陰の努力も，決定後，テレビ放映され，国民のひとりとしてうれし涙でいっぱいだ。昭和39年以来のオリンピックの開催。みんなで好景気にしないと，努力してくれた人に申し訳ない。
		製造業（金属製品）	良くなっていて欲しい。
	雇用	学校関係者	材料費高騰はあるものの，需要が伸びると思われる。
		求人開拓員	円安により自動車関連の受注が増えているが，他の企業求人はあまり変化ない。
変わらない	家計	商店街代表者	景気が上向きになる要素がまったくない。原料値上げの通知がメーカーから2～3入っているので当店の利益率が下がるのは必至である。売価に反映出来る商店はそうないのではないか。
		スーパー	客数の傾向に変化が見られない。
		家電販売店	消費税の動向が注目されるが，先買いという部分にすぎず，好要因が見当たらない。
		自動車販売店	良く分かりませんが，若い人が来店されないし，年金暮しの人も先行き不安感を抱いている様子です。
		専門スーパー	特に変化を感じない。
		和食食堂	報道等では景気が上向きだと言われているが，実感が無い。
		和食食堂	忘年会シーズンであり予約も増える時期であるが，原材料高で客単価や利益率が減少しているので変わらないと思う。
		ラーメン店	数日後に五輪招致が決定するが日本となれば良くなると思う。
		ドライブイン	地方にはまだ景気が良くなっている実感がない。
		ドライブイン	消費税引上げ実施時期の議論がなされているが，所得が増加している（可処分所得は減っている）とは言いがたく，予定通り26年4月実施ならば駆込み需要は年末よりあると思うが，一時的であり，景気の回復ではない。
		ゴルフ場	予約状況より，変わらないと判断した。
		レジャー施設	お客様の会話に働く意欲すらわかない様な方がいる。
		理・美容店	ここ2～3か月のデータをみて，平均的になってきている。お客様の話でも，仕事が安定して暇ではなくなったという話を多く聞くので。
		建築設計事務所	まだ良くなると感じるが，そう簡単に実行に移さない。
	企業	農業関係者	燃料（重油・灯油）の値上げで作物に経費がかかっており，また大雨などの影響で今後の生育が不安である。
		農業関係者	変わる要因が特にない。
		製造業（食料品）	円安が良い方向に向かう企業と逆に良くない方向に向かう企業があるので，全体的には変わらないと思われる。それを覆せる要因が見当たらない。この夏の異常気象がどういう結果になるか予想がつきにくい。

変わらない	企業	製造業（印刷・同関連業）	東京オリンピックの招致成功は，明るい気持ちになり，景気も良くなるかも知れない。しかしその範囲は東京中心（臨海部）に集中し，茨城方面には波及しないように感じられる。
		製造業（窯業・土石製品）	悪くならずに変わらないことを期待しておりますが，少子高齢化，核家族化に進みつつある日本の現状では，私たちの業界は構造不況業種に該当すると私は思って，試行錯誤しながら会社運営にあたっています。
		製造業（一般機械器具）	仕事はあるが売上げは少ない。全体には仕事が薄いのでみんなで仕事の取り合いかな。
		金融業	多くのお客様からは「アベノミクス効果等で好調なのは大手企業や一部の富裕層，投資家だけで，地方の中小零細企業，一般市民にとっては全く関係のない話だ」，といった声が圧倒的に多い。
		製造業（印刷・同関連業）	出入り業者がどこも静かで困ったと言っているのを聞きます。
		サービス業（ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ業）	一部の業者は忙しく動いているようですがそれ以外は全く変化はなく，むしろ以前より仕事がないというような話も聞こえてきます。
		サービス業（広告業）	特別な話がない。
	雇用	公共職業安定所	管内製造業については，大きな変化はないものの，良い景況感は聞こえない。新規求人を受理するも欠員補充のみ。
やや悪くなっている	家計	コンビニエンスストア	10月末に大型食品スーパーが開店の予定。近隣の店舗はマイナスの影響を受けると思われます。
		コンビニエンスストア	消費税の増税の行方を確認する時期でもあり，増税の詳細が分かるまで一旦消費が停滞することが予想される。
		和食レストラン	ガソリン等の固定費が上がっている為に良くはならない。
		旅行代理店	消費税が来年4月から上がってくるので，住宅の購入や建設に忙しいみたいだが，私達の旅行分野では，むしろ旅行控えなど余計な出費は押えている。12月頃なので，一般商品は売れると思うが，旅行の予約は少ない。
		日本料理店	安倍内閣のアベノミクスは信用できない。
		ゲームセンター	8月，9月と連続で売上が下降ぎみである。9月は入客数も前年を下回っています。
	企業	製造業（化学工業）	電子部品・部材関係で年末にかけ在庫調整局面に向かう。
		建設業	消費税の問題が表面化してくる気がする。
悪	家計	クリーニング店	物価の値上がりが気になり節約傾向になる気がします。景気が良くなっている話も聞かない。
	企業	製造業（電気機械器具）	現在の受注増は短期案件であり，その後は再び受注動向不透明な中での人員・勤務体制の対応が必要。

Ⅲ　景気の判断コメント　―　３その他の意見

（１）県北地域

分野	業種・職種	そ　の　他　の　意　見
家計	商店街代表者	アベノミクスの経済効果に期待する。国の施策の内，中心市街地の活性化策に期待する（コンパクトシティー快適環境と利便性）。
	商店街代表者	取り扱い商品の中で，値上げの動きや工事生産都合による納入時期の延長依頼等が，目につくようになった。
	スーパー	地域の祭りなどに家族での参加が多くなった。地場野菜コーナーなども以前より問い合せや売行きも良い。買い物もコミュニティーの場として考えられていると思います。
	コンビニエンスストア	郊外の大型店舗には人は集まっている様に感じますが，他の動きは悪いと感じます。
	小売業（弁当・惣菜店）	消費税に関して関心が高い。特に内税表示では転嫁が困難と見られる。また，いくつかのものが値上りしたのも気がかり。
	小売業（燃料）	レジャーや休日に関連する商品の動きが悪いように思う。
	小売業（水産物）	いまだに水産物・地元の魚介類の風評被害に苦しんでいるので，どうすれば良いのか分からない。
	小売業（時計）	知事選挙中ですが，あまり経済の話は6月頃より聞かれなくなっている。
	レストラン	オリンピックも決まり，地方にも景気回復が見られる事を祈りたいです。
	居酒屋	客単価が悪い。
	スナック	飲食店の新規オープンが多いです。
	観光型ホテル	食材の値上がりが多くなってきている。ガソリン高騰や原料の値上がりが理由と思われるが，これ以上の値上げが続くと料金値上げをせざるを得ず，売上にも悪い影響が出ないか危惧している。
	タクシー運転手	ごく一部の企業は，景気回復してきていると思いますが，私達，車での輸送に関する分野では，燃料の高騰や消費税アップの不安など，あまり景気に対しての好材料が見当たらないのが現状です。
	タクシー運転手	2020年の東京オリンピック開催が決定し，即関連株などの値上りを見ます。経済波及効果は3兆円ともいわれている。周辺でもいつになく前途が開けた明るい盛上りを感じる雰囲気があります。是非オリンピックを成功させ経済波及効果にあやかりたいものだ。
	タクシー運転手	飲食店の方々も大変と言っている。
	ドライブイン	客単価は相変わらず低い。ドライブイン立寄りのお客様には変化はみられない。ガソリン価格が上昇すると，とたんに影響が出ている。
	ゴルフ場	若い年代の行動力（購買力など）がない気がする。
	ゴルフ場	前年に比して天候によるキャンセルは最小限度の状況で推移した。電力調整で土・日出勤の影響を受け，休日の予約は全力。お盆の来場は前年益で推移した。
	レジャー施設	県北地域のスーパーなど小売店を見ていると，買い控えが多く感じます。まだまだ，県北の景気は厳しい状況かと思います。
	ゴルフ場	コンペの組数は定例のものでも減少傾向である。なかなか人を集めることが難しくなっているように感じる。
	住宅販売会社	東京オリンピック開催が決定し，景気回復を牽引してくれることを願うのみ。
企業	林業関係者	商店も不景気ぎみである。ガソリンの高騰も観光客の集客に影響が出ている。
	製造業（精密機器）	精密板金価格は，値段がさらに厳しくなっているような感じがします。
	製造業（電気機械器具）	社内では，会社の貸付制度を利用する人が3か月前より倍以上に増えた。駅前の不動産賃貸額が下がっているように思う。
	製造業（電気機械器具）	日用品や食料品が値上げしていることから，円安の影響を感じる。景気が賃金に反映されていないので，家計に負担となっている。
	製造業（電気機械器具）	ガソリン単価が高騰し，出費も増える一方，給料は特に増える兆候がみられない。
	製造業（電気機械器具）	弊社の受注状況とは逆に，以前は良かったが最近仕事が減っているところがあるという話を聞いた。業界の違いかもしれないが，一様ではないのだと思った。
	運輸業	急激な円安の影響の為か，海外からの工業原料や加工製品が減少している。
	金融業	環境エネルギー事業に関心を示す企業者が増えてきているが，様子見している状況で具体的な動きは鈍い。
	不動産業	大手企業（関連企業含む）従業員や公務員の顧客減少，予算低下を感じている。
雇用	求人開拓員	景気は良くないが，従業員の高年齢化に伴い，定年者が出てきているため運転手の募集を出すが，若者の応募者がいない（景気の回復の為の募集ではない）。

（２）県央地域

分野	業種・職種	そ　の　他　の　意　見
家計	商店街代表者	大手企業などは上向き傾向との報道もあるが，身近では実感がわかない。今までの長引く不況でリストラや徹底的なコスト削減したうえでのことなので，多少のことでは景気が良くなったことを感じることができなくなってしまったのではと思います。
	商店街代表者	気候が厳しくなると商店街に人が来なくなる傾向がある。年々，夏の気温が高くなりマスコミ等でも日中の外出は控えるよう報道したり日射病対策で人々が歩かなくなっている。突然のゲリラ豪雨等も外出を控える要因になっている。夏は暑く，冬は寒い気候の中で，人々は，自宅からマイカーで，1年中気温が一定しているショッピングモールで過ごしてしまう。公共交通機関網が充実していない地方都市の傾向として，外の暑いバス停でバスを待つ姿も見えず，バスもガラガラである。これからは，街中を歩いてウィンドウショッピングする姿はなくなり商店街の活性化や再生の対策は厳しい。
	百貨店，総合スーパー	自分の価値に合ったものには高額品でも迷わず購入されるお客様が，幅広い年齢層で出てこられている（ただ震災後の消費行動とは違う動きである）。
	スーパー	消費税アップの影響も食品業界だと直前まで買い物しないと思われる。為替により，輸入食品を中心に値上げが案内されています。しかし，売価に反映できるかが課題です。
	スーパー	客単価はやはり少しずつ減少している傾向が見られる。
	コンビニエンスストア	価値は値段ではなく質で選ぶ消費者が増えていると思う。
	農産物直売所	夏休み中海岸に近い道路，那珂湊，大洗方面の混雑が震災前のように多くなった感じがした。
	専門スーパー	来年の消費税アップが予想される中，少しずつではあるが，増改築等のリフォーム関係の動向が良くなってきている。
	スーパー	色々と期待をしていますが，まだまだ財布の紐が緩む気配がありません。
	レストラン	婚姻届数にはあまり変化がないようですが，結婚式の数が減ってきました。いわゆる「無し婚」と呼ばれる層の動向が今後の注目です。
	タクシー運転手	身の回りの景気に関して，今の政府に非常に期待しているのをあちこちで聞く。オリンピックも決まり上昇ムードになっている今こそ頑張って欲しい。まずは首都東京から地方に少しずつ波及して欲しい。
	タクシー会社	どうしてもお盆時期は売上げが伸び悩むので，印象として景気が悪く感じてしまう。9月上旬からは消費税の動向やオリンピック開催地の決定等，景気を左右する可能性のあるファクターが動くので，いい方向へベクトルが向く様期待。
	タクシー会社	今年の夏の賞与がアップしたとの報道があったが，一部大手企業の話であり近隣の企業やお客様の話を聞いても減少，昨年同額，等の現状です。また，賞与支給が見送られた会社もありました。大都市の景気動向が報道されて上昇，下降と情報が入ってくるが，地方都市の景気に変動はなく下降気味にあるように感じている方々が多数いることも現実です。
	ドライブイン	大型の観光バスが水戸に入って来ていないと感じます。土，日，水戸駅周辺も静かだな～と思います。ちょっと淋しいですね。
	ゴルフ場	ラウンド終了後パーティーなどを行うコンペが減少している。
	ボウリング場	日常品が値上がりをして，余暇に使うお金が少なくなって来ています。
	カラオケ店	相変わらず，安売りが人気で，低価格店への顧客の流出が見られる。
	レジャー施設	テレビ番組や取材で取り上げられることが多くなるなど，レジャー産業への期待が感じられるので，消費も上向きになっていくと思われる。
企業	農業関係者	TPP交渉の行方が関心事であり，将来の地域農業が心配される。
	製造業（印刷・同関連業）	ガソリン代や原材料費の高値が続いている。
	製造業(金属製品)	大型家具を一気に買い替えて，大幅な模様替えをしました。
	製造業(一般機械器具)	タクシーも飲み屋さんも全く元気がなく，建築関連のみやや忙しいと言う感じ。ものづくり・金属関連は良くなりません。
	製造業(精密機械器具)	業界の国内市場が，ここ数年来右肩下がりとなっている。国内の工場，研究開発部門が海外へ移転しています。 あるいは，業界内の競合会社が吸収合併・統合，資本提携などのM&Aを行っており，お客様が減少傾向にあります。
	建設業	今の状況が推移するとみる。
	運輸業（道路貨物運送業）	軽油価格がじりじりと上昇している。
	情報通信業（情報ｻｰﾋﾞｽ業）	今年も，月遅れお盆中の郊外大型ショッピング街は，猛暑からの逃避もあったせいか，いつもよりかなりの賑わいを感じた。遊びをメーンとしながら，ついでに買い物を楽しむ傾向が強く，家族そろって終日過ごせることから，休日お出かけ先の定番になっているようだ。
	金融業	低価格で提供している飲食業（居酒屋等）の繁盛が見受けられるなど，格差が生じている。
	不動産業	この頃，以前よりも増して生活保護の方が借りにくる比率が高まった。
	サービス業（ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ業）	水戸市の中心市街地の歩行者通行量が依然として落ち込んでいる。特に，休日は横ばいだったのに対し，平日の下落幅が大きい。事業の移転・集約などで，中心業務地区で働く会社員の数が減っていると思われる。また，今年はあまりの暑さで，道を歩く人が少なかったり，屋外イベントに人が集まらないことがあった。
	サービス業（広告業）	消費税アップとオリンピック特需の意識が出てきた。
雇用	公共職業安定所	マスコミ報道による景気上昇の感触は広く見られないものの，一部の業種において高額商品の順調な売れ行きや，大卒者複数の内定辞退が出ており，企業間の競争となっているなどの情報も寄せられている。
	求人開拓員	猛暑などで野菜・果物の値上があり。為替関係でガソリン，電気，ガスなどの値上があり，個人にとって大変苦しい生活となっております。

（３）鹿行地域

分野	業種・職種	そ の 他 の 意 見
家計	小売業（食品）	リフォームや新築の傾向が見えますが，景気が良いのか消費増税を見込んでなのか動きがみられる。
	商店街代表者	景気の良い建設関係の業態が住宅建設の増加に伴ない，景気を牽引できるのか，消費増税前の一過性のものなのか，個人の所得の差が顕著に現われている。
	商店街代表者	この辺は農家がまだ多いので米の収穫による農家の収入で，景気が良くなるのではないですか。
	スーパー	以前より高校生アルバイトの希望者が少し増えた。近くでアルバイトの募集が少ない状況です。 ショッピングセンターの店内のテナント閉店，空きが出始めているので厳しい状況です。
	コンビニエンスストア	価格がやや高くても価値さえあればお客様の購買意欲につながる事が多い。同じような商品で10円高くても中身の価値が上がれば2倍の販売になっている。
	コンビニエンスストア	お客様は常に新しい価値を求めている事が仕事の中で見えてきます。セルフ式ドリップコーヒーはその代表的商品であり，価格とバリューが伴なった価値ある商品にはお客様の反応が著しいのを実感しています。
	衣料品販売店	私事ですが娘の車を購入予定です。やはり消費税は気になります。
	レストラン	アルコールを飲む人が少なくなりました。ノンアルコールが多くなりました。
	洋食食堂	農協の移転が決まった。人の流れに変化が生まれると思う。先日，旧市街地を中心にした夏祭りが行なわれた。関係者の一人としてお神輿と一緒に街を歩いたが，人出はもう一つだった。先日他県の花火大会の事故の影響があり，夜店の出店も例年の半分ぐらいだったと思う。かつて賑やかだったメインストリートは見る影もなかった。
	割烹料理店	来春に消費税が上がるような話だが，このままではその分を補えるか心配だ。それと，コンビナートの企業でも，撤退するところが有るようで悪い話しか聞こえてこない。
	日本料理店	昨晩お祭りに行きまして，2，3年前は露店の値段が300円，400円が多かった気がするがほとんどが500円でした。材料，燃料高のせいだと思うが，昔に比べてお祭りのお客はいるが露店のお客は少ないと思いました。小学生の子供がいますが500円は昔も今も大金だと思う。物価が上がっても小遣いは上がってないのかな？
	タクシー運転手	当地区で震災後に火力発電所の増設工事に影響も有ったが，終息を控え，人の行動が拡大すると思う。
	タクシー運転手	『景気が悪い』につきる。給料もさほど貰えないので夜も出て行かないよ，とボヤキの声が聞かれる。
	タクシー運転手	7月の参議院選挙においてねじれ国会が解消されたので，これから，景気が良くなるぞ，と言う話をするお客さんが見られました。
	ドライブイン	海水浴客が少ない。
	理・美容店	マイホームと車をセットで買う人が多い（2重ローンではなくてローンを多めにする）。そういう事が出来る気持ちになってきたということですかね。
	クリーニング店	この地域に高速道路が通る為，土地がかかる人達，かからない人達の明暗が分かれる。そのお金で少し景気が活気づけばいいのですが。
	住宅販売会社	景気回復がなされていない中での増税は，悪い影響を与えかねない。
	住宅販売会社	旅行者が増えていると感じられる。ハローワークのデーターで，一部の職種で有効求人倍率が2倍～3倍超えがある位，人手が不足していると感じられる。
企業	製造業（食料品）	依然として不況感を脱しきれない。
	製造業（食料品）	東電福島原発の汚染水流出で北茨城～相馬地区の出漁自粛延長と沈静化しつつあった風評被害の拡大で漁業・水産加工業界の景気は低迷せざるを得ません。
	製造業（化学工業）	原燃料価格が，今まで以上に収益確保の大きなネックとなりつつあり，あらゆる面から使用料削減に向けた努力が求められている。
	建設業	来年度に予定されている消費税引上げに関し，どのようになっていくか期待が大きい分，不安も大きいように思われます。
	運輸業（道路貨物運送業）	一握りの大企業と中小零細企業の存在意義，又は今後の方向性を強く感じる。連携プレーが出来なくなりつつあるのではないか。
	保険業	地元に農産物加工工場が決まれば約100名の雇用が期待出来る。
	不動産業	新築物件のアパート，コーポ等のお客様の入居状況があまり良くないような気がする。物件も多いと思うが、満室になるまで日数がかかりすぎる。
	サービス業	高速道路の車両通行量については常に気をつけているが，昨今増加していると感じる。特に物流関係を担うトラック輸送が北関東地区は増加していると感じている。

（４）県南地域

分野	業種・職種	そ の 他 の 意 見
家計	スーパー	猛暑の影響で，アイス，飲料，氷，涼めん等の販売が大きく伸びた。
	コンビニエンスストア	本人がほしいと思う商品は多少値が高くても売れます。商品価値と価格のバランスで物は売れる。価値の低い商品は安くても売れない。安売りを特徴とするスーパーなどが増えるほど，景気は回復に向かわないと思います。
	小売業（生花店）	小売同業者は店舗の運営も苦しくなり，主人がコンビニ勤めで奥さんが店舗を運営している所が見えて来た。
	農産物直売所	地元のリピーターは毎日少しずつその日の食材を買い求めているが，他県のお客は買いだめ，10,000円前後買って行く。土，日は他県ナンバーのお客様が増えている。
	ガソリンスタンド	経済的に余裕のある方も，日用品はできるだけ安いものを購買する傾向が強くなったと感じます。
	和食食堂	若い者向け（？），洋食（ハンバーグ，パスタ等）が売れ行きが好調のように思います。
	洋食食堂	お寿司屋さんが居酒屋さんメニューを提供するようになりました。次の世代に変わってきてます。近隣の中華料理店が閉店しました（8月で）。
	都市型ホテル	お客様の中では，多少高単価な商品を購入されるかたもおりました。その中で，高単価な商品開発を早急に進めている状況です。その出品数で今後の景気判断が出来るかと思われます。
	タクシー運転手	土浦市内に今年初め家電量販店がオープンした。さらに年内オープンを目途に別の家電量販店も建設中である。又，つくば市内に外国スーパーがオープンし，価格競争が見られる。
	タクシー会社	夜，飲酒したお客様が多くなっている。
	ゴルフ場	来場者の単価が若干だが上がっているので，やや景気が持ち直しているかと思う。
	ゴルフ場	オリンピック東京開催の話題で持ち切りだが，それが景気に影響してくるのはまだまだ先の話と思われるが明るい話題となっている。但し，原発問題が常に影を落している事は否めない…解決策を早めに示してもらいたいものだ。
	パチンコ店	様々なメディアによってアベノミクス効果を煽っているように景気が，盛り上がっているようには感じられない。特に，来年の消費税アップへの企業間での動向の話ばかり聞き，生活における節約などへの対応を今から考えている傾向をよく感じる。
	ボウリング場	中小企業や個人事業主の所，まだまだ金が回らない気がします。
	理・美容店	お客様の車が大きい車から，コンパクトカー，ハイブリッドカーなどに変わってきている。ガソリンの値上げ，車の税金などのためなのでしょう。
	住宅販売会社	増税後の反動を気にする話題が多く出てくる。
企業	製造業（窯業・土石製品）	先日，東京オリンピックも決まり建設業界では仕事に対する期待感が相当高まっている。今後，人手の確保，材料等の値上がり圧力が強くなると思われるのでその対応に追われることになる。
	製造業(非鉄金属)	東海地区大手自動車メーカーの部品調達が海外へシフトされ，関西系部品メーカーが関東地区への販売強化に取組はじめている(国内部品メーカーの競争が激しくなってきた）。
	建設業	当社の取引している企業，一部上場企業では（銅製造メーカ，防水メーカ，住宅メーカ，電力，飲料メーカ，食品メーカ，スズメッキ工場など）一向にその動きはありません。よって引合い，受注，契約が少ない。同業他社の経営者も口を揃えて，こんな年は今迄なかった，まいったね，とつぶやく。景気回復はあるのか、アベノミクスはどうなっているの，早く経済の回転を望むと。
	建設業	居住地周辺でのアパート建設だか，今までも多少はあった。しかし，このところ大手ハウスメーカーによるアパート建設が，かなり目に付くようになってきた。
	建設業	しばらく連絡のなかった業者，お客様より，今後の事業の問い合わせが2～3件あった。景気が安定するのではないかとか，多少良くなっていくという期待感の表れの様である。
	金融業	税務署や市役所からの税務調査依頼が多い気がします。駅前のテナントが以前と比べて空いています。大手飲食店やコンビ二等の出店は目立つが，個人経営の店は厳しいように感じます。
	不動産業	組織化・法人化してニーズに応対できた会社と個人的企業でQ・C（むり・むら・むだ）の対応ができてない所で，全ての業界で差別化されているのが現状で，後継者・事業承継の有無が大別されてくると思う。大局の戦略と日々の業に対する生活習慣が大切と思う。
	サービス業（広告業）	消費税アップ前の特需がありそう。
雇用	学校関係者	大型店舗ができて雇用が創出され人・物の動きが活発化している場所がある反面個人商店などは集客が難しい状況になっていると思う。県南に人と物が集まってきているように見える。
	求人開拓員	求人開拓をしていて，景気が悪いとぼやく担当者が減った。

（5）県西地域

分野	業種・職種	そ　の　他　の　意　見
家計	商店街代表者	毎夏，地元の花火大会に商店街として出店をしているが，今年の桟敷席のお客様の引けが早いのにはびっくりした（花火も年々，早く終わっている）。
	商店街代表者	消費税増税（8%）がいよいよ具体化し，我々小さな商店主同士では「気持ち的に萎縮し，新しい事業や企画に一歩踏み出せない」と話しています。さりとて今のままでは国はなりたたなくなる事はわかっておりますので…。
	スーパー	一部，商品の値上げがあり，今後の消費の変化に注意したい。
	コンビニエンスストア	ただ安い物を求める傾向とは異なり，価格と価値を考えた際に価値が上回っていれば手に取るお客様が増えている。
	自動車販売店	建設業の方が元気がある様に感じますが，一般の方は控え目な感じです。まだまだ，全体の一般の給料まで回っていない感じがします。
	ガソリンスタンド	ガソリン価格の上昇により，ハイブリットカーや軽自動車の割合が多くなってきており，燃料の消費量が減少している。
	ラーメン店	裕福層による高級車販売の増加など高級品販売は伸びている様です。
	旅行代理店	放射能の影響があり，魚類が高い，野菜も高温の影響で高い。原油の値上げにより，一般商品も高値になってきた。募集が集まらない。お買物ツアーだけが良い（あるお店でハガキ1枚出せば，1名無料で2名からは9千円とかで優待する。毛皮・宝石などのお買物）。
	タクシー会社	来年4月からの消費税増税後の景気が悪くなる事を懸念される事業者が多い。
	ドライブイン	トラックドライバーの方々からは最近仕事が増えて忙しくなったとの話を多く聞く。
	日本料理店	大手企業は円安の影響を受け好況の様だが，中小零細業者は物価上昇が先行しているので大変な暗い感じがする。
	ゲームセンター	当店に遊びに来るお客様だけでなく，店舗の横にある道路の交通量も夜は減ったように思われます。
	理・美容店	車の話題が多くなっている。
	理・美容店	相変わらず自動車は軽やハイブリッドにする人が増えているので，みんな節約する所は徹底しているのだと思う。
	建築設計事務所	毎年軽井沢に避暑に出かけて13年経つが，今年の軽井沢のにぎわいは人・モノともに目を見張るものがあった。これから景気が良くなると期待せずにはいられない。
企業	農業関係者	2020オリンピックが決定したので，建設業などが良くなるのでは。
	製造業（食料品）	新聞のチラシを見ると以前より住宅や自動車の販売のチラシを多く見かけ，消費税率引上げの前の需要増につながるか，消費税率引上げの来年実施も含め，景気への影響について微妙なところと思われる。
	製造業（食料品）	建設資材関連の会社が増産をする為に，今迄よりかなり高額な時給で多量に人数を集めている。おそらく東日本大震災による増産だと思われる。
	製造業（印刷・同関連業）	どこの市町村でも，街を少しでも良くしようと，市民がボランティアで「街おこし」事業に参加している。会議所も行政も又，商店街も老若男女が知恵を出し合い，議論を重ねている。私もいくつかの会合を持っているが，最近，若い方々の参加が少ない。20代・30代・40代の若手がもっと街中の目立つ場所にいてもらいたい。若い方がもっと活躍出来るように，私達も気を使わないといけないのかも―。
	製造業（印刷・同関連業）	あちこちの空地にソーラーパネルが見受けられるようになった。でもまだ，耕作放棄された農地など，利用されていない土地がたくさんある。茨城の特徴は広大な平野であり，首都に隣接していることであるので，農業と太陽光（熱）を利用した景気対策をもっと大胆に取れないのだろうかと思う。
	製造業（窯業・土石製品）	私の住んでいる地域にも，どんどん全国展開する大型店が出店したり，大改装していますので，今までの街の商店は廃業せざるを得なくとの思いで，工事現場を通るのがせつなく，さびしくなりますね。これも時代の流れなのかな。しかし他社にできないことをやり，時代に適応すべくやり方を変えていけば必ず勝機はあります。
	製造業（金属製品）	工業製品も業種によって大きく景況に差があるし，安心出来る分野はないものか…模索中である。
	建設業	大型小売店舗が優位に展開している。
	電気工事業	オリンピックが決まり，景気アップを期待する。
	金融業	輸出向けの工作機械等の下請け業者等の中には，比較的受注が堅調な様子が伺えるようだが，工賃単価などは依然として引き下げられたままで改善の見込みは低いとのこと。燃料費高騰により運送業者等の中には相当な疲弊感が見られる先もある。
	不動産業	消費税増税の影響か住宅建設用地としての土地の売買が活発化している。生活保護受給者の来客が減少。
	サービス業（ｺﾝｻﾙﾀﾝﾄ業）	県西の地には自動車メーカーの進出により工場へのアクセス道路の整備が盛んに行われており，それに関係する業者は忙しそうです。
	サービス業（広告業）	以前は仕事量が少なかったが，盆過ぎてから多くなり，人手不足になりました。
雇用	人材派遣業	県西のお客様の勝ち組と負け組が，はっきりと分けられている気がする。大半が負け組だが。
	公共職業安定所	雇用調整助成金の計画が4月・38件，7月・25件と減少している。休業対象者も4月，7月と大幅に減少している。5月の制度改正があったにしろ業績回復とは言い難いが，休業しなくても良い状況になってきている。
	学校関係者	自動車，建設機械の海外需要の現地生産化が進み，部品メーカーの追従もあって国内生産が伸び悩んでいる。
	求人開拓員	求人側と求職で希望職種のミスマッチが見られる。